

株式会社ユニリタ

LMIS V2.9.0

英語化設定手順書



本書の複製、本書に含まれる画像および本文の転載はお断りさせていただいております。

LMIS は、株式会社ユニリタの商標です。

Force.com および Salesforce は、米国 セールスフォース・ドットコムSalesforce.comの商標です。

ITIL® は、AXELOS Limited の登録商標です。

その他、記載されている会社名および製品名は、各社の商標または登録商標です。

目次

1. 英語化について.....	4
1.1 LMIS 英語化について	4
1.2 提供バージョンについて	4
1.3 翻訳範囲について	4
1.4 制限事項について	5
2. 英語化設定の適用	7
2.1 LMIS 導入	8
2.2 トランスレーションワークベンチ有効化.....	8
2.3 レイアウトセクションの翻訳.....	11
2.3.1 翻訳ファイルのエクスポート	11
2.3.2 翻訳ファイルの作成.....	14
2.3.3 翻訳ファイルのインポート	18
2.4 Guide 項目の表示	20
2.5 Details 項目の表示.....	23
2.6 関連リストへ Details 項目の表示	26
2.7 英語ユーザの設定	32
2.7.1 英語ユーザ用のプロフィール作成.....	32
2.7.2 英語ユーザ用のプロフィール編集.....	34
2.7.3 英語ユーザ用公開グループ作成.....	40
2.7.4 英語ユーザのユーザ設定	41
2.7.5 英語ユーザ用公開グループへの追加	44
2.8 日本語ユーザの設定	45
2.8.1 日本語ユーザ用プロフィールの編集	45
2.9 ビューの公開範囲設定.....	48
2.10 レポート・ダッシュボードの公開範囲設定	50
2.11 コメント既定値設定.....	54
2.12 セルフサービスポータル英語化	57
2.12.1 セルフサービスポータル環境の構築	57
2.12.2 英語ゲストユーザのユーザ設定	57
2.12.3 メールテンプレートの設定	61
2.13 クイックアクションの成功メッセージの設定	62

1. 英語化について

本書では、本製品を英語化して利用するまでの手順を説明します。

1.1 LMIS 英語化について

LMIS 英語版は、日本国内からのグローバルヘルプデスクのコントロール、日本国内のヘルプデスクでの英語利用者への対応を想定して作成されています。

各言語のユーザが利用できる範囲は以下の通りです。

	日本語	英語
システム管理者	○	×
開発者 (コンフィグレーション)	○	×
プロセス管理者 スタッフ	○	○

1.2 提供バージョンについて

英語化に対応しているバージョン、レベルは以下の通りです。

提供バージョン	説明
V2.9.0.00	V2.9.0.00 までの機能が英語化されます。

1.3 翻訳範囲について

英語化にて翻訳されているのは、LMIS 本体およびセルフサービスポータルのみになります。

※メールの内容には、日本語と英語が併記されます。

※日本語、英語のレポートとダッシュボードがそれぞれインストールされます。対象言語以外のレポートを非表示にする設定は「2.10 レポート・ダッシュボードの公開範囲設定」を参照して下さい。

なお、現行のバージョンに対応した英語マニュアルは提供されていません。

1.4 制限事項について

英語化設定を利用する際の制限事項について説明します。

- 英語化設定して翻訳されるのは、LMIS の標準機能のみとなります。
お客様でコンフィグレーションした内容については翻訳されません。
別途、翻訳を行う必要があります。手順はオンラインマニュアルの [コンフィグレーションガイド] - [入力項目の設定] - [ページレイアウトの設定] - [入力項目のラベルを変更する] を参考に翻訳を行って下さい。
- 英語では選択リスト値で全文検索できません。
- 英語ユーザで CSV 出力すると文字コード : ISO-8859-1 にて出力されるため、日本語が文字化けして出力されます。そのため、日本語を含むレコードを出力する場合には、日本語ユーザで CSV 出力を実施して下さい。
- お客様の環境にて LMIS のリソースに対して、既に英語の翻訳が実施されているものに関しては、バージョンアップにてパッケージとして提供している翻訳内容が上書きされません。以下に例を記載します。
 - ◆ お客様にて既存項目の日本語翻訳及び英語翻訳を実施している場合
お客様にて「件名」項目を以下のように翻訳している場合
 - ・日本語翻訳 : タイトル
 - ・英語翻訳 : Title

上記の状態にて V2.9.0.00 にバージョンアップを実施した場合、「件名」項目の翻訳内容は上書きされず、以下のままとなります。

 - ・日本語 : タイトル
 - ・英語 : Title

◆お客様にて既存項目の日本語翻訳のみ実施している場合

お客様にて「件名」項目を以下のように翻訳している場合

- ・日本語翻訳：タイトル
- ・英語翻訳：なし

上記の状態にて V2.9.0.00 にバージョンアップを実施した場合、「件名」項目の翻訳内容は以下ようになります。

- ・日本語：タイトル
- ・英語：Subject

2. 英語化設定の適用

英語化設定手順について説明します。

実施する作業は、すべてシステム管理者のユーザで実行して下さい。

必須の手順については必ず実施して下さい。任意の手順については作業説明の内容を確認し、必要に応じて実施して下さい。

章	作業名	作業説明	必須/任意
2.1	2.1 LMIS 導入	本製品をインストールします。	必須
2.2	2.2 トランスレーションワークベンチ有効化	Salesforce の翻訳設定を有効化します。	必須
2.3	2.3 レイアウトセクションの翻訳	手動で翻訳する必要があるレイアウトセクションを翻訳します。	必須
2.4	2.4 Guide 項目の表示	レイアウトに英語用のガイド項目を表示します。	必須
2.5	2.5 Details 項目の表示	レイアウトに英語用の通知内容項目を表示します。	必須
2.6	2.6 関連リストへ Details 項目の表示	各オブジェクトのレイアウトに対し、通知の関連リストに Details 項目を追加します。	必須
2.7	2.7 英語ユーザの設定	英語ユーザの権限設定、ユーザの詳細設定を行います。	必須
2.8	2.8 日本語ユーザの設定	日本語ユーザの権限設定を行います。	必須
2.9	2.9 ビューの公開範囲設定	英語のビューが日本語ユーザに非表示になるよう設定します。日本語ユーザに英語のビューを表示させない場合は実施して下さい。	任意
2.10	2.10 レポート・ダッシュボードの公開範囲設定	英語のレポート・ダッシュボードが日本語ユーザに非表示になるよう設定します。日本語ユーザに英語のレポート・ダッシュボードを表示させない場合は実施して下さい。	必須
2.11	2.11 コメント既定値設定	英語ユーザの承認・否認・依頼取消時のコメント入力時に既定値設定をします。 英語ユーザでコメントの既定値を設定する場合は、実施して下さい。	任意
2.12	2.12 セルフサービスポータル英語化	セルフサービスポータルが英語で表示されるよう設定します。	必須※1
2.13	2.13 クイックアクションの成功メッセージの設定	クイックアクションを使用した際に表示される成功メッセージが英語で表示されるよう設定します。	必須※2

※1 セルフサービスポータル英語化は、英語ユーザがセルフサービスポータルを使用する場合のみ必須となります。

※2 クイックアクションの成功メッセージの設定は、英語ユーザがクイックアクションを使用する場合のみ必須となります。

2.1 LMIS 導入

英語化に対応している LMIS をインストールします。インストール手順については、『バージョン共通バージョンアップ手順書』を参照して実施して下さい。

2.2 トランスレーションワークベンチ有効化

Salesforce の翻訳設定を使用するため、トランスレーションワークベンチを有効化します。

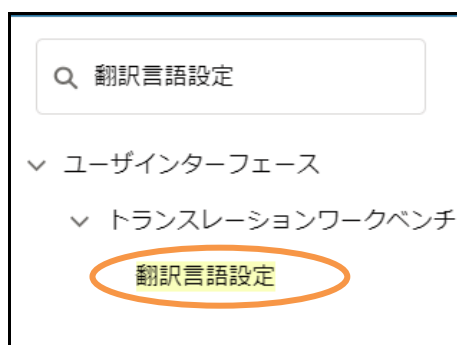
すでにトランスレーションワークベンチの有効化、使用言語に「英語」を追加している場合は、「2.3 レイアウトセクションの翻訳」に進んで下さい。

1. システム管理者でログインします。設定画面の[クイック検索]で「翻訳言語設定」と入力して、検索結果から「翻訳言語設定」をクリックします。

<Classic の場合>



<Lightning の場合>



2. トランスレーションワークベンチを有効化していない場合は、有効化画面が表示されます。[有効化] ボタンをクリックします。すでに有効化している場合は、次の手順に進んで下さい。

このページのヘルプ ?

トランスレーションワークベンチ 翻訳設定

トランスレーションワークベンチへようこそ

トランスレーションワークベンチでは、Salesforce.com 組織に対して行ったカスタマイズの翻訳を作成できます。カスタム選択リスト値からカスタム項目までのすべてを翻訳できるため、グローバルユーザは Salesforce.com のすべてを各自の言語で使用できます。

トランスレーションワークベンチを使用する場合は、トランスレーションワークベンチを有効化してください。ワークベンチを有効化すると、Salesforce.com 組織にいくつかの変更が加えられます。

- 選択リスト値は個別に編集する必要があります。これは、選択リスト値は一括編集できないということです。新しい値の一括追加は可能です。
- 選択リスト値をアルファベット順に並び替えると、値は組織のデフォルト言語によるアルファベット順になります。
- 検索条件で「次の文字で始まる」、「次の文字列を含む」、または「次の文字列を含まない」といった演算子を使用すると、レポートの検索条件ページに言語ドロップダウンが表示されます。
- インポートファイルには言語ドロップダウンが含まれています。インポートファイル内のすべてのレコードおよび値はその言語を使用している必要があります。
- HTML を生成する前の Web-to-リードおよび Web-to-ケースには言語ドロップダウンが含まれています。
- すべてのルールと設定データは、組織のデフォルト言語で入力する必要があります。グローバル管理者は、組織のデフォルト言語で作業する必要があります。

ワークベンチの使用を続行する場合は、**有効化** をクリックしてください。ワークベンチをオフにする必要がある場合は、翻訳設定ページの **無効化** をクリックしてください。

有効化

3. 使用言語に英語を追加します。[追加] ボタンをクリックします。英語が追加されている場合は、英語の編集リンクをクリックし次の手順に進んで下さい。

このページのヘルプ ?

トランスレーションワークベンチ

[追加] ボタンをクリックして、組織で使用する言語、翻訳を担当するユーザを選択してください。

使用言語 **追加**

翻訳は定義されていません

✓ お客様の組織では現在トランスレーションワークベンチをご利用いただけます。無効にするには、[無効化] ボタンをクリックします。 **無効化**

4. 言語翻訳の編集画面が表示されます。以下のように設定して、[保存] ボタンをクリックします。

項目名	選択する値
有効	チェックあり
この言語の翻訳者を選択して下さい	「選択されたリスト」にシステム管理者を設定

トランスレーションワークベンチ このページのヘルプ ?

言語の編集

この言語の翻訳者を「選択されたリスト」に追加して保存してください。すべての翻訳作業を完了したら、チェックボックスにチェックを入れこの言語を有効にしてください。

言語翻訳の編集

言語 英語

有効

この言語の翻訳者を選択してください

翻訳者を追加するには、[利用可能なリスト] からユーザを選択し、[追加] をクリックします。翻訳者が翻訳を始められるように、必ず翻訳者全員に「設定・定義を参照する」権限を与えます。

検索 ユーザ

利用可能なリスト

--なし--

選択されたリスト

システム 管理者

追加 削除

5. トランスレーションワークベンチが有効化され、英語の翻訳が可能になりました。

トランスレーションワークベンチ このページのヘルプ ?

[追加] ボタンをクリックして、組織で使用する言語、翻訳を担当するユーザを選択してください。

使用言語

アクション	言語	有効	翻訳者
編集	英語	✓	システム 管理者

2.3 レイアウトセクションの翻訳

手動で翻訳する必要があるレイアウトセクションがあるため、翻訳を行います。

2.3.1 翻訳ファイルのエクスポート

翻訳を行うための、翻訳ファイルのエクスポートします。

1. システム管理者画面で、[管理] - [トランスレーションワークベンチ] - [エクスポート] をクリックします。



2. エクスポート画面が表示されます。「バイリンガル」を選択して、「STF としてエクスポート」ボタンをクリックします。

言語ワークベンチ
エクスポート

このページのヘルプ ?

3 種類のテキストをエクスポートできます。

- ソース - 翻訳可能なすべてのテキストを含むファイルを 1 つ生成します
- 期限切れと未翻訳 - 最後の翻訳後に変更されたテキストと、まだ翻訳されていないテキストが含まれるファイルのセットが言語ごとに生成されます
- バイリンガル - 翻訳可能なすべてのテキストを含む言語別のファイルのセットを生成します

Salesforce 翻訳ファイルは、拡張文字と 2 バイト文字をサポートする UTF-8 エンコード形式でエクスポートされます。このエンコードは変更できません。

クイックヒント

- 言語コード参照

エクスポート

エクスポートタイプ:

ソース 期限切れと未翻訳 バイリンガル

STF としてエクスポート XLIFF としてエクスポート

3. エクスポートが完了すると、エクスポートを実行したユーザー宛てにメールが届きます。リンクをクリックして、ドキュメント画面を開いて下さい。



4. ドキュメント画面を開くと、「バイリンガル」から始まる zip ファイルが作成されているので、名称をクリックしてドキュメントの詳細画面を開きます。

複数 zip ファイルがある場合は、最新のファイルを選択して下さい。



5. 「ファイルを表示」リンクを右クリックし、「名前を付けてリンク先を保存」を選択し、任意の場所にファイルを保存し、zip ファイルを解凍して下さい。

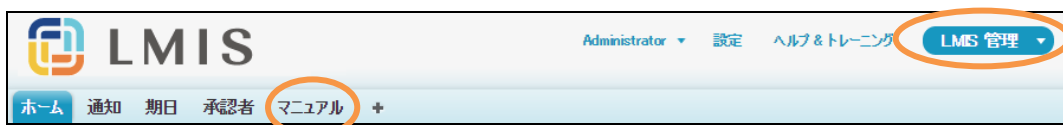


2.3.2 翻訳ファイルの作成

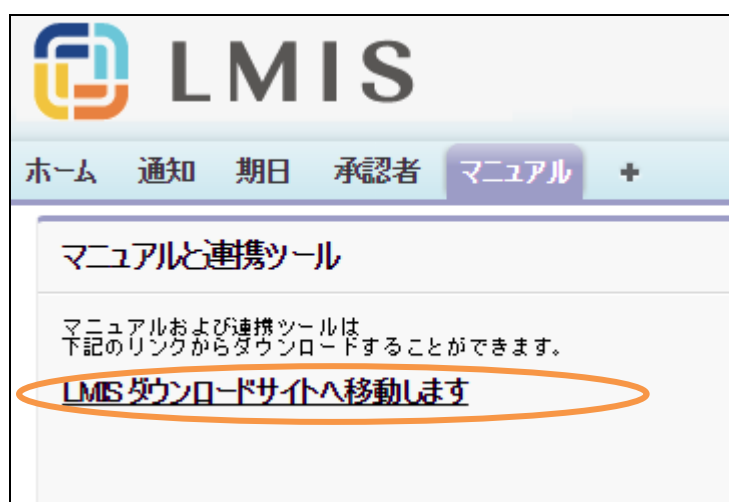
Excel のマクロを使用して、翻訳を行うための翻訳ファイルを作成します。

Excel は、2010、2013、2016、2019 または 365 のいずれかのバージョンを使用して下さい。

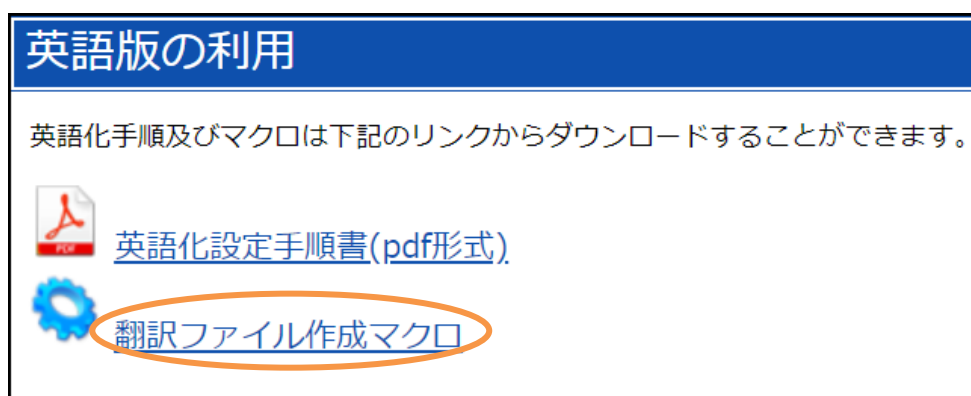
1. [LMIS 管理] アプリケーションを選択し、[マニュアル] タブをクリックします。



2. マニュアル画面が開くので、[LMIS ダウンロードサイトへ移動します] リンクをクリックします。

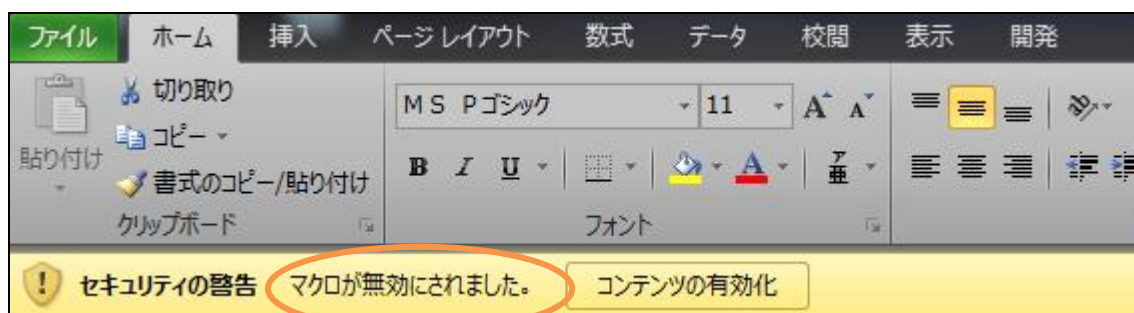


3. 英語版の利用セクション内の「翻訳ファイル作成マクロ」をダウンロードして下さい。



4. ダウンロードした「translation_create.xlsx」を開きます。

5. 「セキュリティの警告」で[マクロが無効化されました]をクリックします。
「セキュリティの警告」が表示されなかった場合には、手順 8 に進みます。



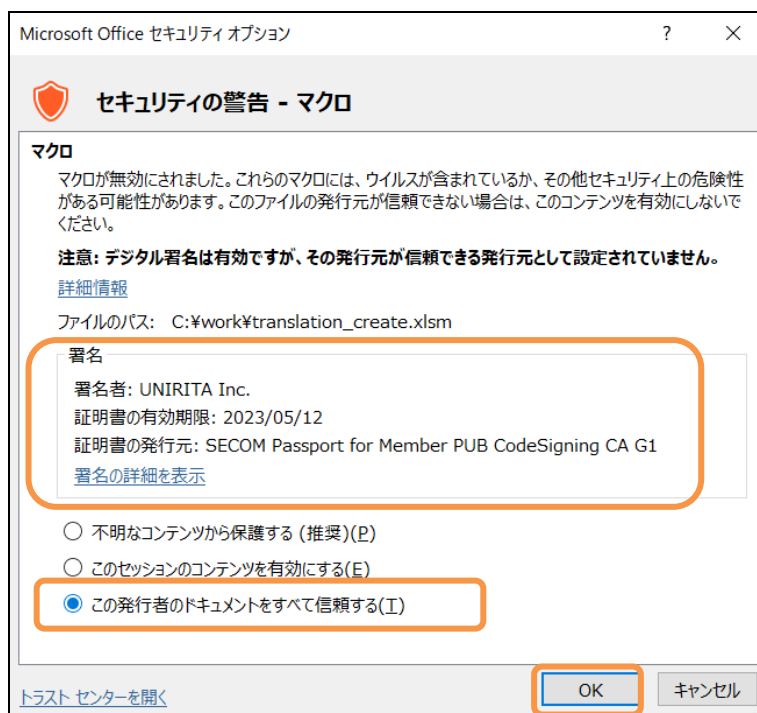
注意

ここで「コンテンツの有効化」はクリックしないでください。

6. 「情報」画面で[コンテンツの有効化]をクリックして、[詳細オプション]をクリックします。

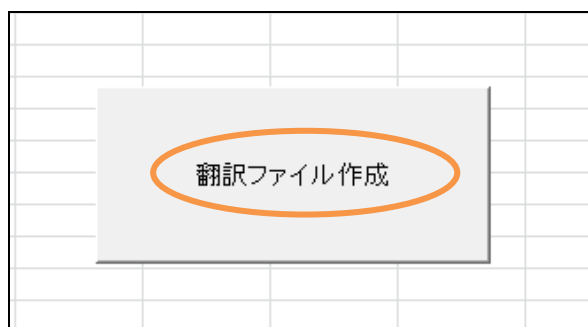


7. 「Microsoft Office セキュリティ オプション」画面で下記のようなデジタル署名が表示されることを確認します。

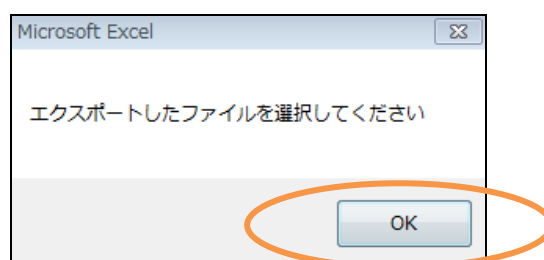


[この発行者のドキュメントを信頼する]をチェックして[OK]をクリックします。

8. 「翻訳ファイル作成」シートの「翻訳ファイル作成」ボタンをクリックします。



9. ボタンをクリックすると、以下のダイアログが表示されるので [OK] ボタンをクリックします。

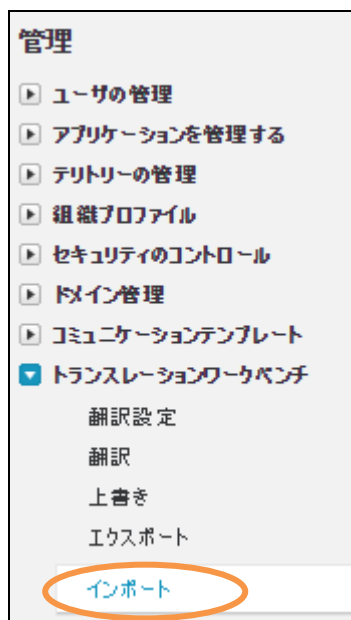


10. ファイルを選択する画面が表示されるので、「2.3.1 翻訳ファイルのエクスポート」でダウンロードしたフォルダ

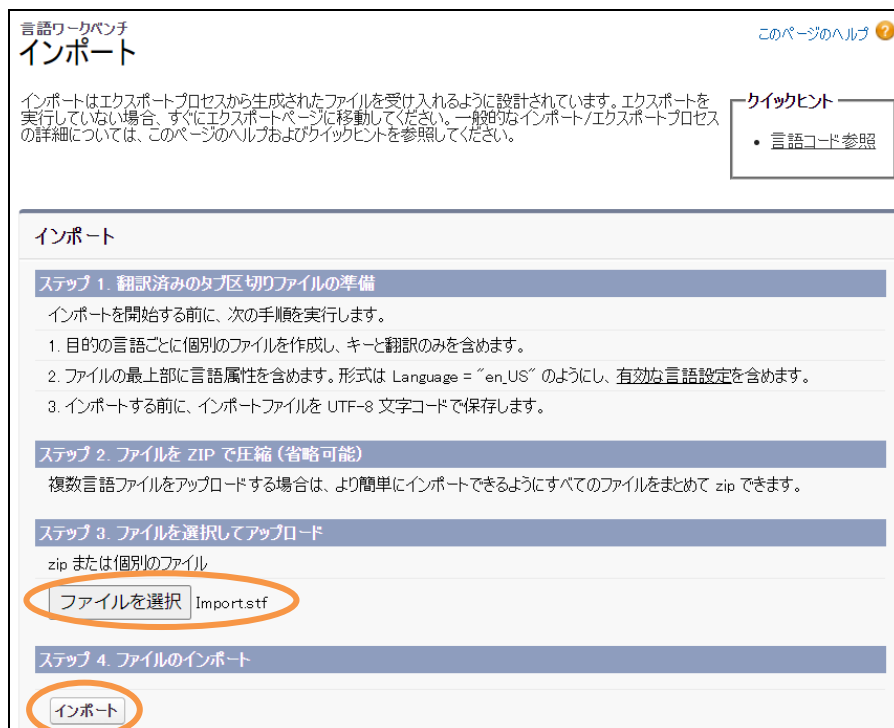
2.3.3 翻訳ファイルのインポート

作成した翻訳ファイルをインポートします。

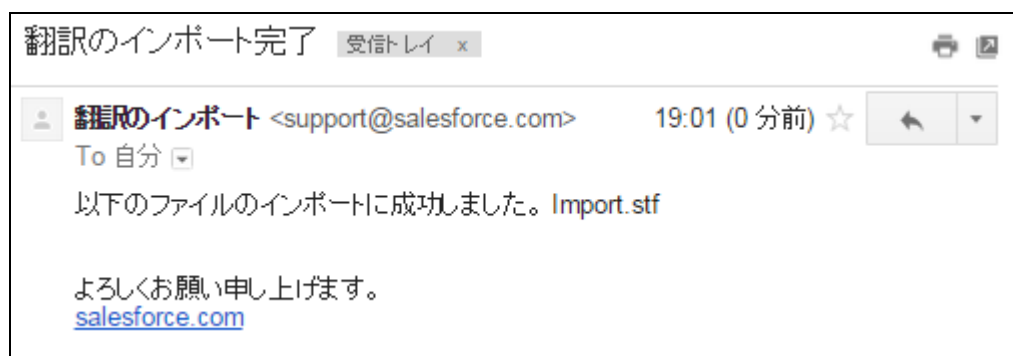
1. システム管理者画面で、[管理] - [トランスレーションワークベンチ] - [インポート] をクリックします。



2. インポート画面が表示されます。[ファイルを選択] から「2.3.2 翻訳ファイルの作成」で作成した翻訳ファイルを選択します。選択後、[インポート] ボタンをクリックします。



3. インポートが完了すると、インポートを実施したユーザー宛てに以下のメールが届きます。以上で、翻訳ファイルのインポートは完了です。



2.4 Guide 項目の表示

英語ユーザー用のガイド項目を表示します。

1. システム管理者画面で、[ビルド] - [作成] - [オブジェクト] をクリックします。



2. カスタムオブジェクト一覧画面が開きます。

編集するオブジェクト名をクリックします。ここでは例としてインシデント管理をクリックします。

カスタムオブジェクト このページのヘルプ ?

カスタムオブジェクトとは、Salesforceの組織に固有のデータを保存できるデータベーステーブルのことです。カスタムオブジェクトを使用して、Salesforce機能を拡張したり、新しいアプリケーション機能を開発できます。

カスタムオブジェクトを作成すると、カスタムタブ、カスタム関連リスト、およびダッシュボードを作成して、カスタムオブジェクトデータと対話できるようになります。Force.com API を使用して、カスタムオブジェクトデータにアクセスすることも可能です。

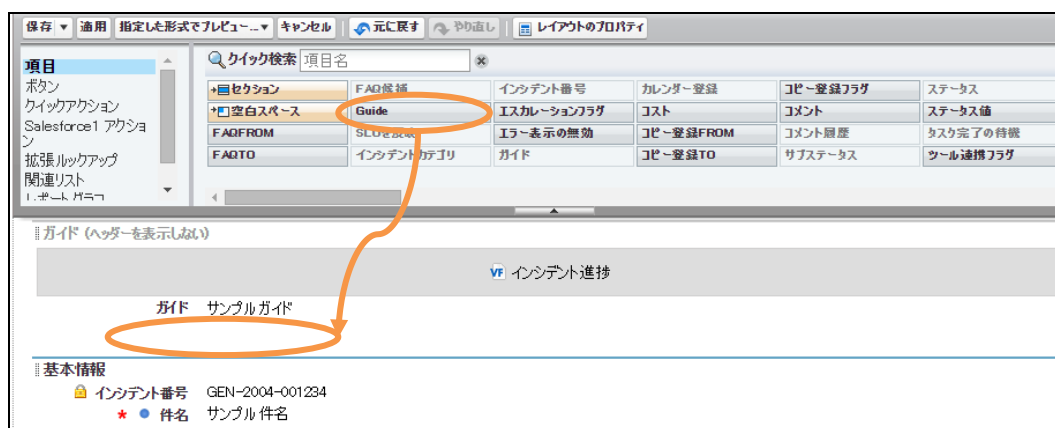
新規カスタムオブジェクト スキーマビルダ

アクション	表示ラベル	インストール済みパッケージ	マスタオブジェクト	リリース済み	説明
編集	FAQ管理	LMIS		✓	
編集	イベント管理	LMIS		✓	
編集	インシデント管理	LMIS		✓	
編集	インシデント管理・FAQ管理	LMIS	インシデント管理, FAQ管理	✓	
編集	インシデント管理・問題管理	LMIS	インシデント管理, 問題管理	✓	

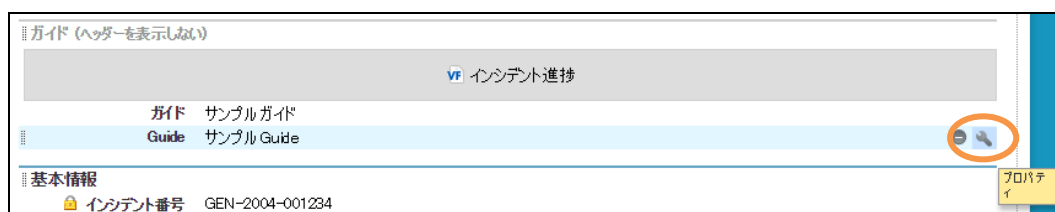
3. カスタムオブジェクトの詳細画面が開きます。画面上部の「ページレイアウト」リンクをマウスオーバーします。マウスオーバーすると、レイアウト一覧が表示されるので、編集するレイアウトの「編集」リンクをクリックします。



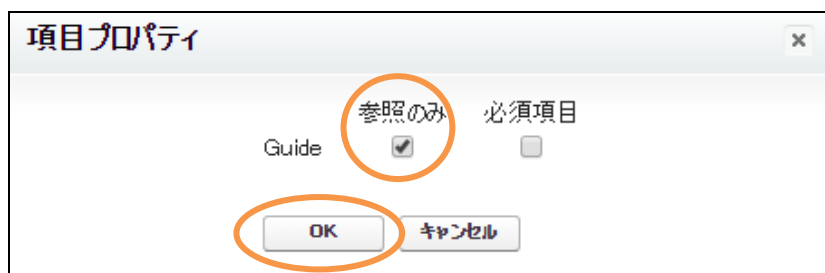
4. ページレイアウトの編集画面が開きます。「Guide」項目をドラッグアンドドロップにて「ガイド」項目の下に追加します。



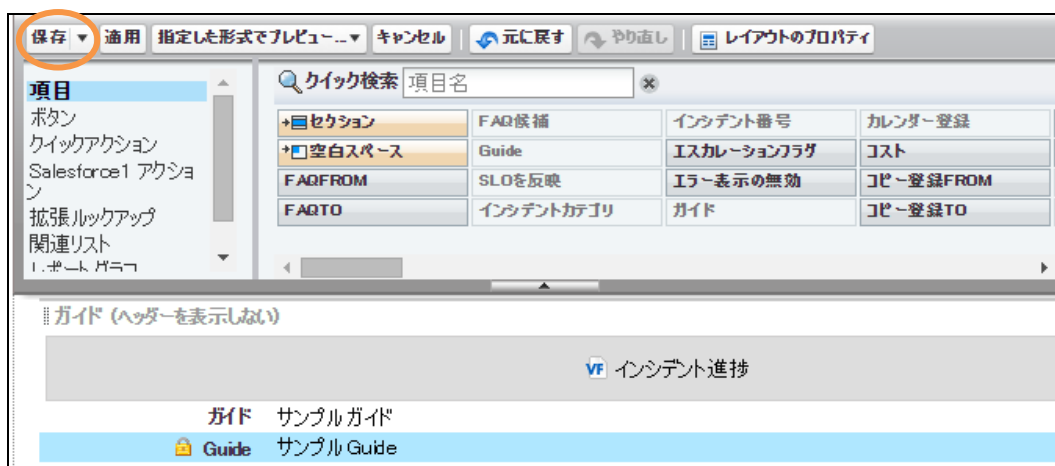
5. 項目を追加後、「Guide」項目にマウスオーバーすると表示される アイコンをクリックします。



6. 項目プロパティ画面が表示されます。[参照のみ] にチェックを入れて、[OK] ボタンをクリックします。



7. 設定が完了したら、レイアウトの [保存] ボタンをクリックします。



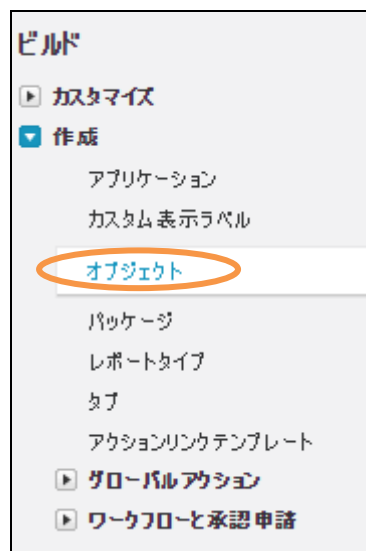
8. 1～7 の設定を、以下のオブジェクトで使用しているレイアウトにも同様に設定して下さい。

オブジェクト名
サービス要求管理
インシデント管理
問題管理
変更管理
リリース管理
タスク
自動リリース管理
※Automatic Release オプションを使用している場合のみ
移送管理
※Automatic Release for ERP オプションを使用している場合のみ

2.5 Details 項目の表示

英語ユーザ用の通知内容項目を表示します。

1. システム管理者画面で、[ビルド] - [作成] - [オブジェクト] をクリックします。



2. カスタムオブジェクト一覧画面が開きます。
[通知] のオブジェクト名をクリックします。

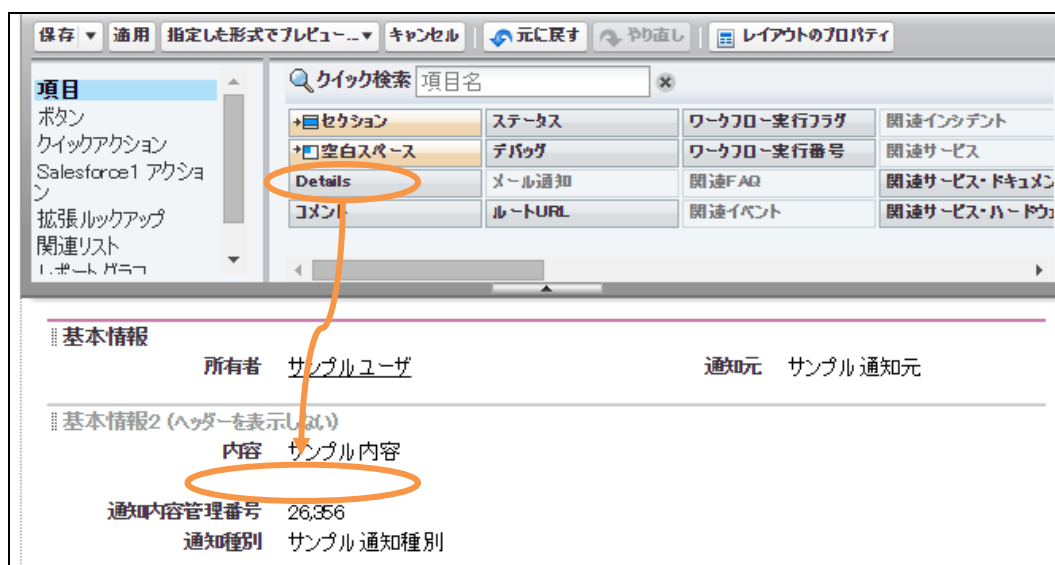
編集	↓	期日	LMS	✓
編集	↓	自動リリース管理	LMS	✓
編集	↓	通知	LMS	✓
編集	↓	連携 CH1	LMS	✓


3. カスタムオブジェクトの詳細画面が開きます。画面上部の [ページレイアウト] リンクをマウスオーバーします。
マウスオーバーすると、レイアウト一覧が表示されるので、編集するレイアウトの [編集] リンクをクリックします。

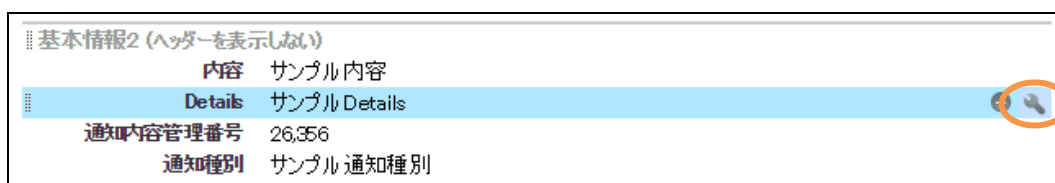
カスタムオブジェクト 通知 (管理)				
このカスタムオブジェクトの定義は管理されています。つまり、編集できるのは特定の属性のみです。詳細情報の表示				
標準項目 [4] カスタム項目 & リレーション [40] 入力規則 [0] ページレイアウト [0] 項目セット [0] コンパクトレイアウト [0] 検索レイアウト [0] ボタン、リンク、および				
ページレイアウト ページレイアウト				
新規 ページレイアウトの割り当て				
アクション	ページレイアウト名	インストール済みパッケージ	作成者	更新者
編集 削除	システム管理者	LMS	Administrator, 2015/08/26 9:51	Administrator, 2015/08/26 9:54
編集 削除	スタッフ	LMS	Administrator, 2015/08/26 9:54	Administrator, 2015/08/26 9:54
編集 削除	プロセス管理者	LMS	Administrator, 2015/08/26 9:54	Administrator, 2015/08/26 9:54

4. ページレイアウトの編集画面が開きます。

「Details」項目をドラッグアンドドロップにて「内容」項目の下に追加します。



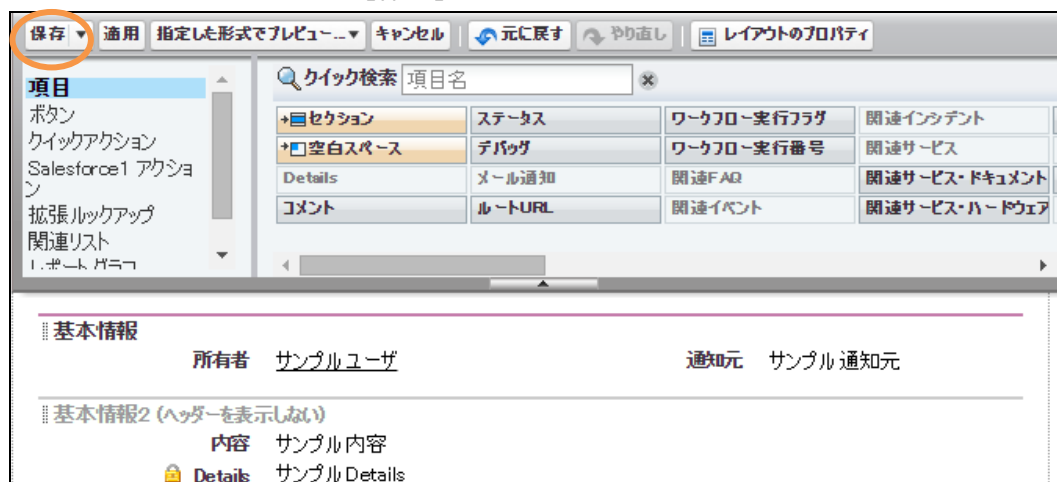
5. 項目を追加後、「Details」項目にマウスオーバーすると表示される  アイコンをクリックします。



6. 項目プロパティ画面が表示されます。[参照のみ] にチェックを入れて、[OK] ボタンをクリックします。



7. 設定が完了したら、レイアウトの [保存] ボタンをクリックします。



8. 1～7 の設定を、通知の全てのレイアウトにも同様に設定して下さい。

2.6 関連リストへ Details 項目の表示

各オブジェクトのレイアウトに対し、通知の関連リストに Details 項目を追加します。

1. システム管理者画面で、[ビルド] - [作成] - [オブジェクト] をクリックします。



2. カスタムオブジェクト一覧画面が開きます。

編集するオブジェクト名をクリックします。ここでは例としてインシデント管理をクリックします。

カスタムオブジェクト このページのヘルプ ?

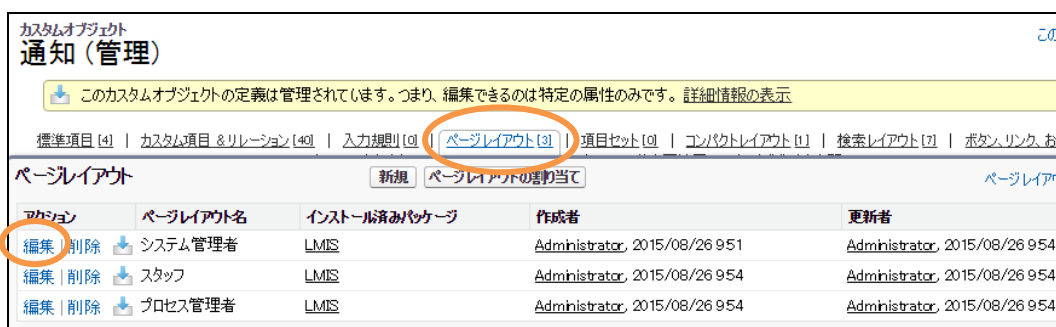
カスタムオブジェクトとは、Salesforceの組織に固有のデータを保存できるデータベーステーブルのことです。カスタムオブジェクトを使用して、Salesforce機能を拡張したり、新しいアプリケーション機能を開発できます。

カスタムオブジェクトを作成すると、カスタムタブ、カスタム関連リスト、およびダッシュボードを作成して、カスタムオブジェクトデータと対話できるようになります。Force.com API を使用して、カスタムオブジェクトデータにアクセスすることも可能です。

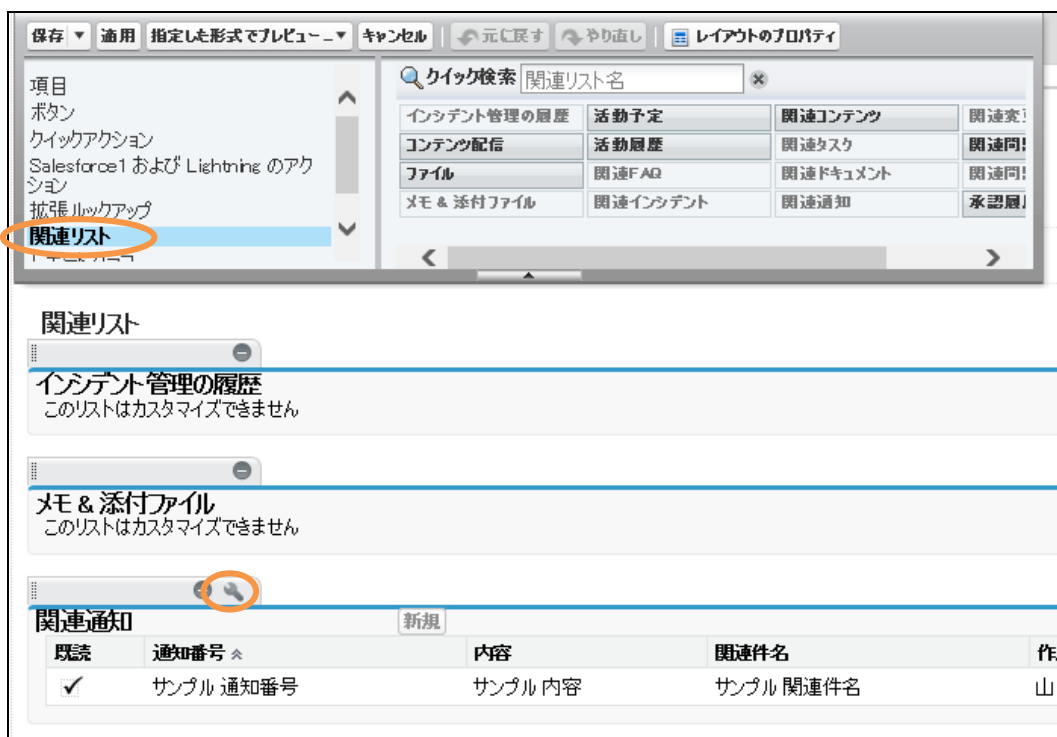
新規カスタムオブジェクト スキーマビルダ

アクション	表示ラベル	インストール済みパッケージ	マスタオブジェクト	リリース済み	説明
編集	FAQ管理	LMIS		✓	
編集	イベント管理	LMIS		✓	
編集	インシデント管理	LMIS		✓	
編集	インシデント管理・FAQ管理	LMIS	インシデント管理, FAQ管理	✓	
編集	インシデント管理・問題管理	LMIS	インシデント管理, 問題管理	✓	

3. カスタムオブジェクトの詳細画面が開きます。画面上部の [ページレイアウト] リンクをマウスオーバーします。マウスオーバーすると、レイアウト一覧が表示されるので、編集するレイアウトの [編集] リンクをクリックします。



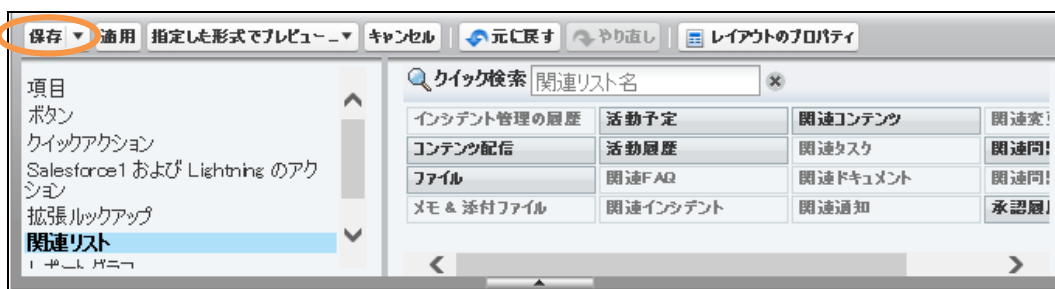
4. ページレイアウトの編集画面が開きます。
[関連リスト] をクリックし「関連通知」の アイコンをクリックします。



- 「Details」項目を [追加] ボタンにて追加し、[上へ] [下へ] ボタンにて「Details」項目の場所を変更後 [OK] ボタンをクリックします。



- [保存] ボタンをクリックしレイアウトを保存します。



7. Classicを使用する場合には、3～6の手順を以下のレイアウトに対して設定します。Lightning 使用する場合には、手順8に進んでください。

No	オブジェクト名	レイアウト名
1	お知らせ	システム管理者
2	お知らせ	スタッフ
3	お知らせ	プロセス管理者
4	変更管理	システム管理者
5	変更管理	スタッフ
6	変更管理	プロセス管理者
7	ドキュメント	システム管理者
8	ドキュメント	スタッフ
9	ドキュメント	プロセス管理者
10	イベント管理	システム管理者
11	イベント管理	スタッフ
12	イベント管理	プロセス管理者
13	FAQ 管理	システム管理者
14	FAQ 管理	スタッフ
15	FAQ 管理	セルフサービスポータル
16	FAQ 管理	プロセス管理者
17	ハードウェア	PC
18	ハードウェア	サーバ
19	ハードウェア	システム管理者
20	ハードウェア	スタッフ
21	ハードウェア	ネットワーク機器
22	ハードウェア	プリンタ
23	ハードウェア	プロセス管理者
24	ハードウェア	モバイル端末
25	ハードウェア	ラック
26	ハードウェア	契約情報
27	ハードウェア	非 IT 資産
28	インシデント管理	システム管理者
29	インシデント管理	スタッフ
30	インシデント管理	セルフサービスポータル
31	インシデント管理	プロセス管理者
32	ネットワーク	システム管理者
33	ネットワーク	スタッフ

No	オブジェクト名	レイアウト名
34	ネットワーク	プロセス管理者
35	ネットワーク	契約情報
36	期日	システム管理者
37	期日	スタッフ
38	期日	プロセス管理者
39	問題管理	システム管理者
40	問題管理	スタッフ
41	問題管理	プロセス管理者
42	リリース管理	システム管理者
43	リリース管理	スタッフ
44	リリース管理	プロセス管理者
45	サービス	システム管理者
46	サービス	スタッフ
47	サービス	プロセス管理者
48	ソフトウェア	システム管理者
49	ソフトウェア	スタッフ
50	ソフトウェア	プロセス管理者
51	ソフトウェア	契約情報
52	タスク	システム管理者
53	タスク	スタッフ
54	タスク	プロセス管理者
55	サービス要求管理	システム管理者
56	サービス要求管理	スタッフ
57	サービス要求管理	プロセス管理者

8. Lightning を使用する場合には、3～6の手順を以下のレイアウトに対して設定します。

No	オブジェクト名	レイアウト名
1	お知らせ	LightningLayout
2	変更管理	LightningLayout
3	ドキュメント	LightningLayout
4	イベント管理	LightningLayout
5	FAQ 管理	LightningLayout
6	ハードウェア	LightningLayout
7	ハードウェア	LightningPC
8	ハードウェア	Lightning サーバ
9	ハードウェア	Lightning ネットワーク機器
10	ハードウェア	Lightning プリンタ
11	ハードウェア	Lightning モバイル端末
12	ハードウェア	Lightning ラック
13	ハードウェア	Lightning 非 IT 資産
14	インシデント管理	LightningLayout
15	ネットワーク	LightningLayout
16	ネットワーク	Lightning セグメント
17	ネットワーク	Lightning ネットワーク
18	期日	LightningLayout
19	問題管理	LightningLayout
20	リリース管理	LightningLayout
21	サービス	LightningLayout
22	ソフトウェア	LightningLayout
23	タスク	LightningLayout
24	サービス要求管理	LightningLayout

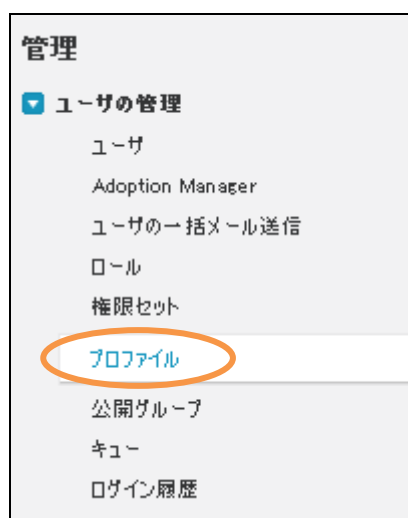
2.7 英語ユーザの設定

英語ユーザ用のプロフィールの作成・編集、ユーザ設定、公開グループの作成を行います。

2.7.1 英語ユーザ用のプロフィール作成

日本語ユーザと英語ユーザでは権限の設定が異なるため、英語ユーザ用のプロフィールを作成します。

1. システム管理者画面で、[管理] - [ユーザの管理] - [プロフィール] をクリックします。



2. プロファイル画面が表示されます。[新規] ボタンをクリックします。



3. プロファイルのコピー画面が表示されます。「既存のプロファイル」には、コピー元として使用したい既存のプロファイルを選択します。ここでは例として「プロセス管理 Platform」を選択します。

注意

本説明ではLMISの既存プロファイルのコピー元として設定していますが、貴社にて作成したプロファイルがあり、そのプロファイルの権限設定を利用したい場合には、作成したプロファイルをコピー元として設定して下さい。

4. 「プロフィール名」を入力します。(例「プロセス管理 Platform(英語)」で登録)

5. [保存] ボタンをクリックして登録します。

2.7.2 英語ユーザ用のプロフィール編集

英語ユーザ用に作成したプロフィールの編集を行います。本手順は、作成する英語用プロフィール全てに実施して下さい。

この章では以下の設定を行います。

設定	内容
ホームページレイアウトの割り当て	英語ユーザ用のレイアウトを割り当てます
項目レベルセキュリティの変更	日本語のガイド、通知内容項目が非表示になるように設定します

1. ホームページのレイアウトの割り当てを行います。

システム管理者画面で、[管理] - [ユーザの管理] - [プロフィール] をクリックして、ユーザプロフィール画面を開きます。

作成した英語用プロフィール名をクリックします。

編集	システム管理者	Salesforce	<input type="checkbox"/>
編集 削除	スタッフPlatform	Salesforce Platform	<input checked="" type="checkbox"/>
編集	ソリューション管理者	Salesforce	<input type="checkbox"/>
編集	パートナーユーザ	Partner	<input type="checkbox"/>
編集 削除	プロセス管理Platform	Salesforce Platform	<input checked="" type="checkbox"/>
編集 削除	プロセス管理Platform(英語)	Salesforce Platform	<input checked="" type="checkbox"/>
編集	マーケティングユーザ	Salesforce	<input type="checkbox"/>

2. プロファイルの詳細画面が開きます。

「ページレイアウト」セクションを確認します。「ホームページのレイアウト」の「割り当ての参照」リンクをクリックします。

ページレイアウト			
標準オブジェクトレイアウト			
グローバル	Global Layout [割り当ての参照]	ユーザ	User Layout [割り当ての参照]
Outlook	割り当てられていません [割り当ての参照]	ユーザプロフィール	割り当てられていません [割り当ての参照]
ホームページのレイアウト	HMBSHOME2 [割り当ての参照]	価格表	Price Book Layout [割り当ての参照]

3. ホームページのレイアウトの割り当て画面が開きます。

「割り当ての編集」ボタンをクリックします。英語用プロファイルに「LMIS_HOME2 (EN)」を選択します。
 選択後、「保存」ボタンをクリックします。

以上で、ホームページのレイアウトの割り当ては完了です。

プロセス管理者(英語)	LMIS_HOME2(EN)
マーケティングユーザ	Dashboard Home Page Default
参照のみ	Dashboard Home Page Default
契約管理者	Dashboard Home Page Default
標準 Platform ユーザ	デフォルトのホームページ
標準ユーザ	Dashboard Home Page Default
連携用	デフォルトのホームページ

4. 項目レベルセキュリティの変更を行います。

プロファイルの詳細画面を開きます。

「項目レベルセキュリティ」セクションを確認します。「インシデント管理」の「参照」リンクをクリックします。

項目レベルセキュリティ	
標準項目レベルセキュリティ	
ToDo	[参照]
アイデア	[参照]
キャンペーンメンバー	[参照]
ケース	[参照]
コーチング	[参照]
パフォーマンスサイクル	[参照]
フィードバック	[参照]
フィードバックテンプレート	[参照]
フィードバック質問	[参照]
フィードバック質問セット	[参照]
フィードバック要求	[参照]
ユーザ	[参照]
ユーザプロビジョニング要求	[参照]
カスタム項目レベルセキュリティ	
FAQ管理	[参照]
イベント管理	[参照]
インシデント管理	[参照]
インシデント管理・FAQ管理	[参照]

5. 項目レベルセキュリティ画面が開きます。

[編集] ボタンをクリックします。

プロセス管理者Platform(英語)プロファイルの インシデント管理 項目レベルセキュリティ [このページのヘルプ](#)

編集 | [ロファイルに戻る](#)

項目名	データ型	参照アクセス権	編集アクセス権
FAQFROM	ロングテキストエリア	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
FAQTO	ロングテキストエリア	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
FAQ候補	チェックボックス	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
Guide	ロングテキストエリア	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

6. 「Guide」の設定を以下のように設定して、[保存] ボタンをクリックします。

項目名	選択する値
参照アクセス権	チェックあり
編集アクセス権	チェックなし

プロセス管理者Platform(英語)プロファイルの インシデント管理 項目レベルセキュリティ [このページのヘルプ](#)

保存 | [キャンセル](#)

項目名	データ型	参照アクセス権	編集アクセス権
FAQFROM	ロングテキストエリア	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
FAQTO	ロングテキストエリア	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
FAQ候補	チェックボックス	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
Guide	ロングテキストエリア	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
SLOを反映	選択リスト	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
インシデントカテゴリ	選択リスト	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
インシデント番号	自動採番	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
エスカレーションフラグ	選択リスト	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
エラー表示の無効	チェックボックス	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
ガイド	ロングテキストエリア	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
カレンダー登録	選択リスト	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>

7. 同様に「ガイド」の設定を以下のように設定して、[保存] ボタンをクリックします。

項目名	選択する値
参照アクセス権	チェックなし
編集アクセス権	チェックなし

プロセス管理者Platform(英語)プロフィールの インシデント管理 項目レベルセキュリティ [このページのヘルプ](#)

保存 **キャンセル**

項目名	データ型	参照アクセス権	編集アクセス権
FAQFROM	ロングテキストエリア	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
FAQTO	ロングテキストエリア	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
FAQ候補	チェックボックス	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
Guide	ロングテキストエリア	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
SLOを反映	選択リスト	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
インシデントカテゴリ	選択リスト	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
インシデント番号	自動採番	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
エスケーションフラグ	選択リスト	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
エラー表示の無効	チェックボックス	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
ガイド	ロングテキストエリア	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
カレンダー登録	選択リスト	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>

8. 4～7 の設定を、以下のオブジェクトの「Guide」、「ガイド」にも同様に設定して下さい。

オブジェクト名
サービス要求管理
インシデント管理
問題管理
変更管理
リリース管理
タスク
自動リリース管理
※Automatic Release オプションを使用している場合のみ
移送管理
※Automatic Release for ERP オプションを使用している場合のみ

9. 次に通知内容の項目レベルセキュリティを変更します。

プロフィールの詳細画面を開きます。

「項目レベルセキュリティ」セクションを確認します。「通知」の [参照] リンクをクリックします。

カスタム項目レベルセキュリティ	
FAQ管理 [参照]	期日 [参照]
イベント管理 [参照]	自動リソース管理 [参照]
インシデント管理 [参照]	承認者 [参照]
インシデント管理・FAQ管理 [参照]	通知 [参照]
インシデント管理・問題管理 [参照]	変更管理 [参照]

10. 項目レベルセキュリティ画面が開きます。

[編集] ボタンをクリックします。

プロセス管理者Platform(英語)プロフィールの 通知 項目レベルセキュリティ このページのヘルプ ?

項目名		データ型	参照アクセス権	編集アクセス権
Details		ロングテキスト エリア	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
コメント		テキスト	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
ステータス		選択リスト	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
デバッグ		ロングテキスト エリア	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

11. 「Details」の設定を以下のように設定して、[保存] ボタンをクリックします。

項目名	選択する値
参照アクセス権	チェックあり
編集アクセス権	チェックあり

プロセス管理者Platform(英語)プロフィールの 通知 項目レベルセキュリティ このページのヘルプ ?

項目名		データ型	参照アクセス権	編集アクセス権
Details		ロングテキスト エリア	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
コメント		テキスト	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
ステータス		選択リスト	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
デバッグ		ロングテキスト エリア	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

12. 「内容」の設定を以下のように設定して、[保存] ボタンをクリックします。

以上で、項目レベルセキュリティの変更は完了です。

項目名	選択する値
参照アクセス権	チェックなし
編集アクセス権	チェックなし

内部バージョン	数値	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
内容	ロングテキストエリア	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
連携用関連レコードリンク	テキスト	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
連携用関連付けID	テキスト	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>

2.7.3 英語ユーザ用公開グループ作成

英語ユーザ用の公開グループを作成します。この公開グループを使用して、ビュー、レポート、ダッシュボードフォルダの公開範囲の設定を行いますので、「2.9 ビューの公開範囲設定」、「2.10 レポート・ダッシュボードの公開範囲設定」を実施する場合のみ、公開グループを作成して下さい。

1. システム管理者画面で、[管理] - [ユーザの管理] - [公開グループ] をクリックして、公開グループ画面を開きます。



2. [新規] ボタンをクリックします。

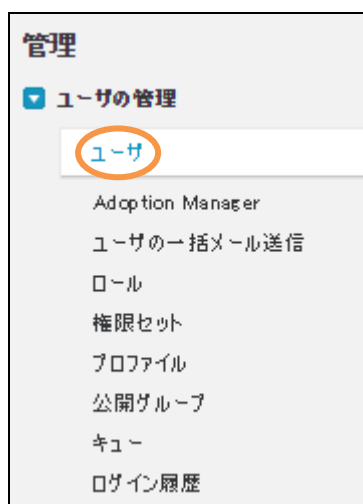


3. 英語ユーザ用の公開グループを作成します。任意の名称で作成して下さい。ここでは例として、表示ラベル「英語ユーザ」、グループ名「EnglishUser」で登録します。
必須項目を入力し、[保存] ボタンをクリックします。
以上で、英語ユーザ用の公開グループ作成は完了です。

2.7.4 英語ユーザのユーザ設定

英語ユーザのユーザ設定について説明します。本手順は、作成する英語用ユーザ全てに実施して下さい。

1. システム管理者画面で、[管理] - [ユーザの管理] - [ユーザ] をクリックして、ユーザー一覧画面を開きます。



2. 「新規ユーザ」ボタンをクリックします。既存ユーザを英語ユーザにする場合は、該当ユーザの「編集」リンクをクリックして3に進んで下さい。

3. ユーザの情報を入力します。英語ユーザには以下の項目を必ず設定して下さい。その他の項目は、オンラインマニュアルの「運用管理ガイド」 - 「ユーザの管理」 - 「ユーザの登録」 - 「ユーザを作成する」を参照して入力して下さい。
入力後、「保存」ボタンをクリックします。

項目名	内容
プロフィール	「2.7.1 英語ユーザ用のプロフィール作成」で作成したプロフィール
メールの文字コード	Unicode(UTF-8)
言語	英語

注意

タイムゾーン、地域を英語にする設定は必須ではありませんが、ユーザの地域によって適切な値を設定して下さい。

新規ユーザ

このページのヘルプ

ユーザの編集

一般情報

必須情報

姓	<input type="text" value="Smith"/>	ロール	<未指定>
名	<input type="text" value="John"/>	ユーザタイプ	Salesforce Platform
別名	<input type="text" value="John"/>	プロフィール	プロセス管理Platform(英語)
メール	<input type="text" value="sample@domain.com"/>	マール	<input type="checkbox"/>
ユーザ名	<input type="text" value="sample@domain.com"/>	マーケティングユーザ	<input type="checkbox"/>
ニックネーム	<input type="text" value="John"/>	オフラインユーザ	<input type="checkbox"/>
役職	<input type="text"/>	ナレッジユーザ	<input type="checkbox"/>
会社名	<input type="text"/>	Force.com Flow ユーザ	<input type="checkbox"/>
部署	<input type="text"/>	Service Cloud ユーザ	<input type="checkbox"/>
デバイス	<input type="text"/>	Site.com Contributor ユーザ	<input type="checkbox"/>
		Site.com Publisher ユーザ	<input type="checkbox"/>
		Work.com ユーザ	<input type="checkbox"/>
		Salesforce Classic ユーザ	<input type="checkbox"/>
		モバイル設定	<input type="text"/>
		Data.com ユーザ種別	--なし--
		Data.com の 1 か月あとの追加制限	デフォルト制限 (300)
		アクセシビリティモード	<input type="checkbox"/>
		グラフィックの色覚障害者用パレット	<input type="checkbox"/>
		Force.com クイックアクセスメニュー	<input checked="" type="checkbox"/>
		Salesforce CRM Content ユーザ	<input type="checkbox"/>
		Salesforce CRM Content のメールアラートの受信	<input checked="" type="checkbox"/>
		Salesforce CRM Content のアラートを毎日のダイジェストとして受信	<input checked="" type="checkbox"/>
		売上予測を許可	<input type="checkbox"/>
		コールセンター	<input type="text"/>
		電話	<input type="text"/>
		内線	<input type="text"/>
		Fax	<input type="text"/>
		携帯	<input type="text"/>
		メールの文字コード	Unicode(UTF-8)
		拡張電話番号	<input type="text"/>

住所(郵送先)

国	<input type="text"/>
郵便番号	<input type="text"/>
都道府県	<input type="text"/>
市区部	<input type="text"/>
町名・番地	<input type="text"/>

シングルサインオン情報

統合 ID

地域の設定

タイムゾーン (GMT+09:00) 日本標準時 (Asia/Tokyo)

地域

言語

承認者の設定

代理承認者

マネージャ

承認申請メールを受信

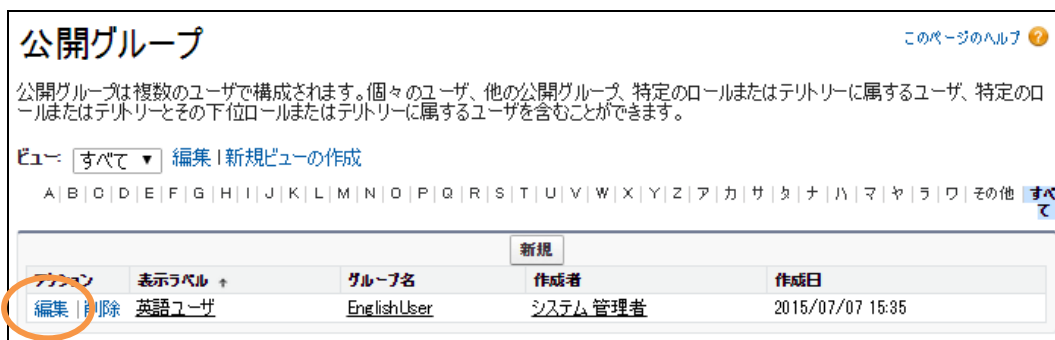
Salesforce ニュースレターの設定

Salesforce ニュースレターを受信する
 Salesforce 管理者ニュースレターを受信する
 パスワードをリセットしてユーザに通知する

2.7.5 英語ユーザ用公開グループへの追加

英語ユーザを「2.7.3 英語ユーザ用公開グループ作成」で作成した公開グループに追加します。本手順は、作成する英語用ユーザ全てに実施して下さい。

1. システム管理者画面で、[管理] - [ユーザの管理] - [公開グループ] をクリックして、公開グループ画面を開きます。
作成した公開グループの [編集] リンクをクリックします。



2. グループメンバー設定画面が開きます。「検索」で「ユーザ」を設定します。「選択可能なユーザ」に表示される英語ユーザを、「選択済みのユーザ」へ移動します。
選択後、[保存] ボタンをクリックします。
以上で、英語ユーザ用公開グループへの追加は完了です。



2.8 日本語ユーザの設定

英語のガイドが非表示になるように、日本語ユーザのプロファイルを編集します。

2.8.1 日本語ユーザ用プロファイルの編集

日本語ユーザ用のプロファイルの編集を行います。本手順は、日本語ユーザで使用している全てのプロファイルに実施して下さい。

1. 編集するプロファイルの詳細画面を開きます。

「項目レベルセキュリティ」セクションを確認します。「インシデント管理」の「参照」リンクをクリックします。

項目レベルセキュリティ	
標準項目レベルセキュリティ	
ToDo	[参照]
アイデア	[参照]
キャンペーンメンバー	[参照]
ケース	[参照]
コーチング	[参照]
パフォーマンスサイクル	[参照]
フィードバック	[参照]
フィードバックテンプレート	[参照]
フィードバック質問	[参照]
フィードバック質問セット	[参照]
フィードバック要求	[参照]
ユーザ	[参照]
ユーザプロビジョニング要求	[参照]
カスタム項目レベルセキュリティ	
FAQ管理	[参照]
イベント管理	[参照]
インシデント管理	[参照]
インシデント管理・FAQ管理	[参照]

2. 項目レベルセキュリティ画面が開きます。

「編集」ボタンをクリックします。

プロセス管理者Platformプロファイルの インシデント管理 項目レベルセキュリティ			
		編集	プロフィールに戻る
項目名	データ型	参照アクセス権	編集アクセス権
FAQFROM	ロングテキストエリア	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
FAQTO	ロングテキストエリア	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
FAQ候補	チェックボックス	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
Guide	ロングテキストエリア	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

3. 「Guide」の設定を以下のように設定して、[保存] ボタンをクリックします。

項目名	選択する値
参照アクセス権	チェックなし
編集アクセス権	チェックなし

プロセス管理者Platformプロフィールの インシデント管理 項目レベルセキュリティ このページのヘルプ ?

項目名	データ型	参照アクセス権	編集アクセス権
FAQFROM	ロングテキストエリア	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
FAQTO	ロングテキストエリア	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
FAQ候補	チェックボックス	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
Guide	ロングテキストエリア	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
SLOを反映	選択リスト	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>

4. 1～3 の設定を、以下のオブジェクトの「Guide」にも同様に設定して下さい。
 以上で、項目レベルセキュリティの変更は完了です。

オブジェクト名
サービス要求管理
インシデント管理
問題管理
変更管理
リリース管理
タスク
自動リリース管理
※Automatic Release オプションを使用している場合のみ
移送管理
※Automatic Release for ERP オプションを使用している場合のみ

5. 次に通知内容の項目レベルセキュリティを変更します。

プロフィールの詳細画面を開きます。

「項目レベルセキュリティ」セクションを確認します。「通知」の [参照] リンクをクリックします。

カスタム項目レベルセキュリティ	
FAQ管理 [参照]	期日 [参照]
イベント管理 [参照]	自動リリース管理 [参照]
インシデント管理 [参照]	承認者 [参照]
インシデント管理・FAQ管理 [参照]	通知 [参照]
インシデント管理・問題管理 [参照]	変更管理 [参照]

6. 項目レベルセキュリティ画面が開きます。

[編集] ボタンをクリックします。

プロセス管理者Platformプロフィールの 通知 項目レベルセキュリティ [このページのヘルプ](#)

編集 [ロファイルに戻る](#)

項目名	データ型	参照アクセス権	編集アクセス権
Details	ロングテキストエリア	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
コメント	テキスト	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
ステータス	選択リスト	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
デバッグ	ロングテキストエリア	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

7. 「Details」の設定を以下のように設定して、[保存] ボタンをクリックします。

以上で、項目レベルセキュリティの変更は完了です。

項目名	選択する値
参照アクセス権	チェックなし
編集アクセス権	チェックなし

プロセス管理者Platformプロフィールの 通知 項目レベルセキュリティ [このページのヘルプ](#)

保存 [キャンセル](#)

項目名	データ型	参照アクセス権	編集アクセス権
Details	ロングテキストエリア	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
コメント	テキスト	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
ステータス	選択リスト	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
デバッグ	ロングテキストエリア	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

2.9 ビューの公開範囲設定

英語のビューが、英語ユーザにのみ表示されるように設定します。

本手順は、必要に応じて任意で実施して下さい。

1. 編集するビューを選択し、[編集] リンクをクリックします。



2. ビューの編集画面が開きます。「表示を制限」セクションで、「特定のユーザグループに表示」を選択します。
ビューの編集画面が開きます。「表示を制限」セクションで、「特定のユーザグループに表示」を選択します。
「共有可能なグループ/ロール」に表示されている「2.7.3 英語ユーザ用公開グループ作成」で作成した公開グループを、「共有先」に移動します。
選択後、「保存」ボタンをクリックします。

ステップ 4. 表示を制限

自分へのみ表示

すべてのユーザに表示 (パートナー/カスタマーポータルユーザを含む)

特定のユーザグループに表示

検索: 公開グループ 対象: 検索

共有可能なグループ/ロール

共有先

グループ: 英語ユーザ

共有元

追加

削除

保存 別名で保存 削除 キャンセル

注意

英語ユーザには、日本語のビューが表示されます。非表示にしたい場合は、日本語ユーザ用の公開グループを作成し、日本語のビューの公開範囲を日本語ユーザ用の公開グループに設定して下さい。

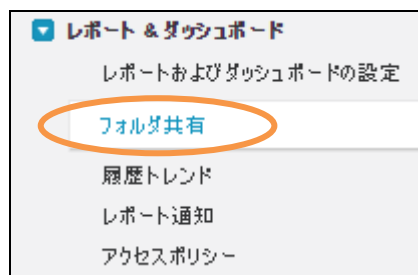
2.10 レポート・ダッシュボードの公開範囲設定

英語のレポート・ダッシュボードが、英語ユーザにのみ表示されるように設定します。

本手順は、必要に応じて任意で実施して下さい。

1. フォルダ共有が有効化されていることを確認します。

設定画面で [ビルド] - [カスタマイズ] - [レポート & ダッシュボード] - [フォルダ共有] をクリックします。

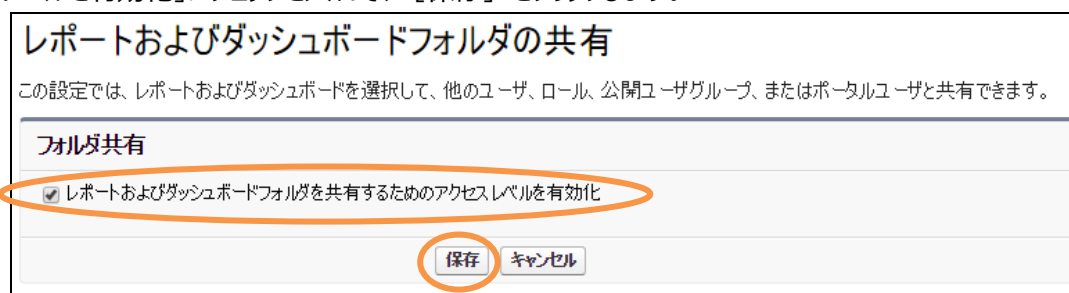


注意

インストール時にフォルダ共有が有効化されている環境では、設定画面に「フォルダ共有」のメニューが表示されません。この場合は、フォルダ共有は有効化されていますので、手順 3 の手順に進んで下さい。


2. 「レポートおよびダッシュボードフォルダの共有」画面が開きます。

フォルダ共有が有効化されていない場合は、「レポートおよびダッシュボードフォルダを共有するためのアクセスレベルを有効化」にチェックを入れて、[保存] をクリックします。



3. 「LMIS ダッシュボード」アプリケーションを選択し、[レポート] タブをクリックします。レポート & ダッシュボード画面が開きます。



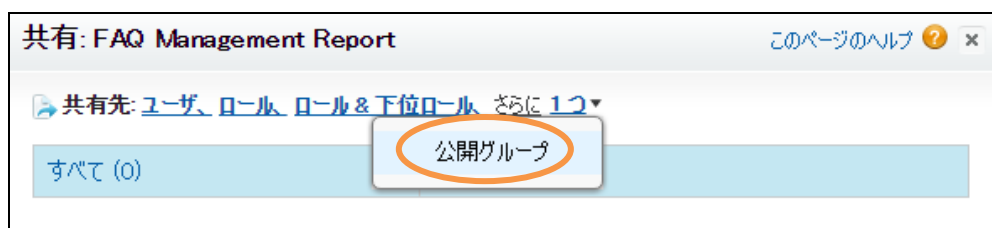
4. 編集するフォルダ名を選択すると表示される、 アイコンをクリックします。ここでは例として「FAQ Management Report」を編集します。



5. メニューが表示されるので、[共有] リンクをクリックします。



6. フォルダの共有画面が表示されます。共有先に表示された [公開グループ] リンクをクリックして下さい。



7. 共有先を設定する画面が表示されます。「英語ユーザ」の [共有] ボタンをクリックします。フォルダに対するアクセス権は以下からの内容を確認して設定して下さい。

名前	アクセス権
閲覧者	表示、更新、実行
エディタ	閲覧者の権限および編集、移動、保存、および削除
マネージャ	エディタの権限およびフォルダの共有およびフォルダ名の変更



8. 共有が完了しました。[閉じる] ボタンをクリックします。

4～7 の設定を、以下のフォルダに設定して下さい。

フォルダ名
FAQ Management Report
LMIS Management Report
Event Management Report
Problem Management Report
Change Management Report
Configuration Management Report
Audit History Report
Release Management Report
Request Management Report
Task Management Report
Transport Management Report
Other Management Report
Incident Management Report
Information Management Report
Project Management Report
LMIS Management Dashboard
LMIS Dashboard

注意

英語ユーザには、日本語のレポート、ダッシュボードが表示されます。非表示にしたい場合は、日本語ユーザ用の公開グループを作成し、日本語のレポート、ダッシュボードの公開範囲を日本語ユーザ用の公開グループに設定して下さい。

2.11 コメント既定値設定

英語ユーザの場合、コメント既定値入力のための設定ファイル名が日本語ユーザのものと異なるため、日本語ユーザとは別に設定を行う必要があります。

日本語でコメントの既定値を設定している場合は本手順を実施し、英語用のコメント既定値設定を実施して下さい。

英語ユーザ用のコメント既定値設定の手順について説明します。

1. ホーム画面の「+」タブをクリックして、「すべてのタブ」画面を表示します。
「ドキュメント」をクリックします。



注意

「ドキュメント」タブは 2 つあるので、間違えないようにお気を付けください。

2. ドキュメントのホーム画面が開きます。
「フォルダ」で「LMIS ドキュメント」を選択して、[Go!] ボタンをクリックします。



3. LMIS ドキュメント画面が開きます。[新規ドキュメント] ボタンをクリックします。



4. ドキュメントの詳細画面が表示されます。

以下の内容を入力し、[保存] ボタンをクリックします。

設定ファイルの詳細な内容については、オンラインマニュアルの [コンフィグレーションガイド] - [設定ファイル] - [LMIS の設定ファイル一覧] - [コメントの既定値設定ファイル (LMIS_MessageResource_ja)] を参照して下さい。

項目	内容
ドキュメント名	LMIS_MessageResource_en_US
ドキュメントの一意の名前	任意(規定は LMIS_MessageResource_en_US)
フォルダ	LMIS ドキュメント
ドキュメント	コメントの設定ファイルを選択 LMIS_MessageResource_en_US.txt

The screenshot shows a web form titled "新規ドキュメントのアップロード" (New Document Upload). The form is divided into three main sections:

- 1. ドキュメントの詳細情報を入力してください** (Enter document details): This section contains several input fields. The "ドキュメント名" (Document Name) field is highlighted with an orange circle and contains the text "LMIS_MessageResource_en_US". Below it, the "ドキュメントの一意の名前" (Unique document name) field also contains "LMIS_MessageResource_en_US". There are checkboxes for "社内向けであることを示す" (Indicate internal use) and "外部参照可" (Allow external reference). A dropdown menu for "フォルダ" (Folder) is set to "LMIS ドキュメント". There are also text areas for "説明" (Description) and "キーワード" (Keywords).
- 2. ファイルを選択してください** (Select a file): This section has two radio button options. The first option, "ドキュメントへのパスを入力するか、ブラウザボタンから検索してください。" (Enter the path to the document or search using the browser button), is selected. The "ドキュメント" (Document) field below it shows "ファイルを選択" (Select file) and "LMIS_Mess...n_US.txt". The second option, "ドキュメントへの参照リンクを作成します。他のユーザーがアクセスできる保存場所を入力してください。" (Create a reference link to the document. Enter a storage location accessible to other users), is unselected. Below it is a text field for "ドキュメントへの参照パス/URL" (Reference path/URL to document).
- 3. [保存] ボタンをクリックしてください** (Click the [Save] button): This section contains a "保存" (Save) button, which is highlighted with an orange circle. Below it is a "キャンセル" (Cancel) button.

At the top right of the form, there is a link for "このページのヘルプ" (Help for this page). A red exclamation mark icon with the text "= 必須情報" (Required information) is located in the top right corner of the first section.

注意

ドキュメント名が「LMIS_MessageResource_en_US」となっていることを確認して下さい。

Lightning 環境でのコメント既定値設定の手順については、オンラインマニュアル [コンフィグレーションガイド] - [その他の設定] - [コメントの既定値の設定(Lightning)] を参照してください。

2.12 セルフサービスポータル英語化

セルフサービスポータルを英語ユーザと日本語ユーザで利用するためには、日本語ユーザ用、英語ユーザ用それぞれに対してセルフサービスポータルサイトを構築する必要があります。

セルフサービスポータルの構築手順は、言語に共通のオンラインマニュアルの手順を参照してください。本手順書では、セルフサービスポータルを英語化するために必要な追加の手順について説明します。

2.12.1 セルフサービスポータル環境の構築

英語ユーザ用のセルフサービスポータルの環境を構築します。

セルフサービスポータル環境の構築の手順に関しては、オンラインマニュアルの『セルフサービスポータル構築ガイド』を参照してください。

2.12.2 英語ゲストユーザのユーザ設定

英語ゲストユーザのユーザ設定について説明します。

1. システム管理者でログインします。設定画面の[クイック検索]で「サイト」と入力して、検索結果から「サイト」をクリックします。



2. サイト画面が表示されます。サイトの一覧で、登録されている「サイトの表示ラベル」をクリックします。以下の画面例では、「ゲスト用サイト」になります。

サイト このページのヘルプ

サイトとは?

Salesforce サイトでは、公開 Web サイトとアプリケーションを作成できます。それらは Salesforce.com 組織と直接統合されるため、ユーザーがログインする場合にユーザー名やパスワードは必要ありません。貴社ブランドのデザインに一致するページから組織に保管されているあらゆる情報を公開できます。サイトを使用して、顧客からのフィードバック収集のためのコミュニティサイト、貴社ポータル用のログインページや登録ページ、リードキャプチャのための Web フォームなどを作成できます。

サイトは Salesforce サーバにホストされているため、データインテグレーションの問題はありません。また、サイトは Visualforce ページをベースとして構築されるため、収集した情報のデータ検証は自動的に行われます。固有の Salesforce ドメインおよび URL から貴社サイトへのアクセスをユーザーに許可するか、独自ブランドのドメインやサブドメインを登録して自社のサイトに移動させることができます。

さまざまな利用者を対象とした複数のサイトを作成して、企業の多様なビジネスニーズを満たすことができます。たとえば、ソフトウェア会社の場合、新規開発者用、顧客用、およびマーケティング用のサイトを作成できます。

貴社の Salesforce サイトドメイン名は

Salesforce サイトの契約条件

設定

これらの設定はすべての Salesforce サイトに影響します。

Assign new records created by Salesforce Sites guest users to a default owner in the org

セルフ登録およびユーザー作成で標準外部プロフィールの使用を許可

保存 キャンセル

Sites (1)		新規					
アクション	サイトの表示ラベル	サイトの URL	サイトの説明	有効	サイト種別	最終更新者	
編集 無効化	ゲスト用サイト			✓	Force.com	システム 管理者, 2020/04/27 11:31	

3. 「サイトの詳細」画面で[公開アクセス設定]を選択します。

サイトの詳細 このページのヘルプ

ゲスト用サイト

◀ 最後に開いたビューへ: サイト

サイトの詳細 編集 | **公開アクセス設定** | ログイン設定 | URL リダイレクト | 無効化

サイトの表示ラベル	ゲスト用サイト	サイト名	ox_site_guest
サイトの説明		サイトの管理者	システム 管理者
有効	<input checked="" type="checkbox"/>	ログイン	許可されていません

4. 「プロフィール」画面で[このプロフィールに属するユーザの参照]を選択します。

プロフィール
ゲスト用サイト プロファイル このページのヘルプ ?

このプロフィールを持つユーザは、以下のアクセス許可とページレイアウトと使用します。システム管理者は、ユーザの個人情報を編集して、各ユーザのプロファイルを変更できます。
組織でレコードタイプを使用する場合は、レコードタイプの設定セクションの [編集] リンクからこのプロフィールに 1 つ以上のレコードタイプを関連づけてください。

ログイン IP アドレスの制限 [?] | 有効な Apex クラス [?] | 有効な Visualforce ページアクセス [33] | 有効な外部データソースアクセス [?] | 有効な指定ログイン情報アクセス [?] | カスタムメタデータ型アクセスを有効化 [?] | 有効なカスタム設定の定義アクセス [?] | フローアクセスを有効化 [?] | 有効になっているカスタム権限 [?]

プロフィールの詳細 編集 このプロフィールに属するユーザの参照

プロフィール名	ゲスト用サイト プロファイル	カスタムプロフィール	✓
ユーザライセンス	Guest User License		
説明			
作成者	システム 管理者, 2020/04/27 11:17	更新者	システム 管理者, 2020/05/05 19:47

5. ユーザの一覧からユーザを選択します。

ゲスト用サイト プロファイル このページのヘルプ ?

このページで、ユーザを作成、表示、および管理できます。
さらに、モバイルデバイスからユーザ詳細の表示と編集、パスワードのリセット、およびその他の管理タスクを実行するには、SalesforceA をダウンロードしてください。 iOS | Android

A | B | C | D | E | F | G | H | I | J | K | L | M | N | O | P | Q | R | S | T | U | V | W | X | Y | Z | ア | カ | サ | タ | ナ | ハ | マ | ヤ | ラ | その他 すべて

アクション	氏名 +	別名	ユーザ名	最終ログイン	ロール	有効	プロフィール	マネージャ
編集	サイトゲストユーザ	ゲスト	ox_site_guest@v290test11.force.com			✓	ゲスト用サイト プロファイル	

A | B | C | D | E | F | G | H | I | J | K | L | M | N | O | P | Q | R | S | T | U | V | W | X | Y | Z | ア | カ | サ | タ | ナ | ハ | マ | ヤ | ラ | その他 すべて

6. 「ユーザ」画面で[編集]をクリックします。

ユーザ
サイトゲストユーザ ゲスト用サイト レイアウトを編集する | このページのヘルプ ?

権限セットの割り当て [?] | 権限セットの割り当て: 有効化が必要 [?] | 権限セットグループの割り当て [?] | 権限セットライセンスの割り当て [?] | 公開グループのメンバーシップ [?] | キューのメンバー [?] | ユーザのスキル [?] | インストール済みモバイルアプリケーション [?]

ユーザの詳細 編集 共有

名前	サイトゲストユーザ	ゲスト用サイト	ユーザライセンス	Guest License
別名	ゲスト		プロフィール	ゲスト用サイト プロファイル
メール	protodev33@gmail.com		有効	✓
ユーザ名	ox_site_guest@v290test11.force.com		マーケティングユーザ	<input type="checkbox"/>
ニックネーム	ox_site_guest		モバイル転送の登録	参照
タイムゾーン	(GMT+09:00) 日本標準時 (Asia/Tokyo)	Salesforce CRM Content ユーザ	モバイルユーザ	✓ <input type="checkbox"/>
地域	日本語 (日本)		メールの文字コード	Unicode(UTF-8)
言語	中国語(簡体字)			
統合 ID				

7. ユーザの情報を入力します。英語ユーザには以下の項目を必ず設定して下さい。入力後、[保存]ボタンをクリックします。

項目名	内容
メールの文字コード	Unicode(UTF-8)
言語	英語

注意

タイムゾーンや地域については、ユーザの地域によって適切な値を設定して下さい。

ユーザ
サイトゲストユーザ ゲスト用サイト このページのヘルプ

ユーザの編集 保存 キャンセル

一般情報 ! = 必須情報

姓	サイトゲストユーザ	ユーザライセンス	Guest License
名	ゲスト用サイト	プロフィール	ゲスト用サイト プロファイル
別名	ゲスト	有効	<input checked="" type="checkbox"/>
メール	<input type="text"/>	マーケティングユーザ	<input type="checkbox"/>
ユーザ名	<input type="text"/>	モバイルユーザ	<input checked="" type="checkbox"/>
ニックネーム	ox_site_guest i	Salesforce CRM Content ユーザ	<input type="checkbox"/>
デバイス	<input type="text"/>	メールの文字コード	Unicode(UTF-8) v
		個人	<input type="text"/>

シングルサインオン情報

統合 ID

地域の設定

タイムゾーン (GMT+09:00) 日本標準時 (Asia/Tokyo) v

地域 日本語 (日本) v

言語 英語 v

保存 キャンセル

2.12.3 メールテンプレートの設定

セルフサービスポータルメール送信機能を使用するときに、標準で提供されている送信メールの文面を適切なものに変更したい場合には、各送信メールのメールテンプレートの内容を変更する必要があります。

メールテンプレートを変更する操作手順については、オンラインマニュアル [セルフサービスポータル構築ガイド] - [セルフサービスポータルを導入する] - [ユーザインタフェースを設定する] - [メールテンプレートを設定する] を参考に、英語環境でメールテンプレートを変更するときは、以下のメールテンプレートを使用してください。

パラメータファイルで設定するメールテンプレート

属性名	使用するメールテンプレート名
startPortal	ポータルユーザ利用開始通知(英語)
resetPassword	ポータルユーザパスワードリセット通知(英語)
resetPasswordForOwner	ポータル担当者パスワードリセット通知(英語)

ワークフロールールで設定するメールテンプレート

ワークフロールール名	使用するメールテンプレート名
承認依頼通知(英語)2	ポータル問い合わせ承認依頼通知(英語)2
承認依頼通知(英語)2 代理通知なし	ポータル問い合わせ承認依頼通知(英語)2
承認通知(英語)2	ポータル問い合わせ承認通知(英語)2
否認通知(英語)2	ポータル問い合わせ否認通知(英語)2
取り下げ通知(英語)2	ポータル問い合わせ取り下げ通知(英語)2
取り下げ通知(英語)2 代理通知なし	ポータル問い合わせ取り下げ通知(英語)2
2段階認証(英語)	2段階認証コード通知(英語)

2.13 クイックアクションの成功メッセージの設定

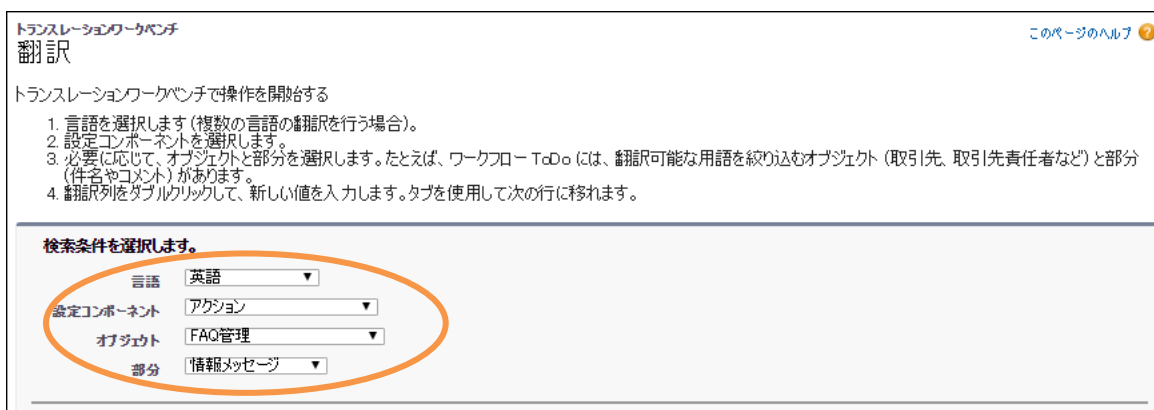
クイックアクションを使用した際の成功メッセージが英語で表示されるように設定します。

本設定は、Lightning モードを使用している組織、または Classic モードでクイックアクションを使用している組織に対して必要な作業です。Classic モードを利用している組織で、クイックアクションを使用していない場合は、本設定は不要です。

1. システム管理者画面で、[管理] - [トランスレーションワークベンチ] - [翻訳] をクリックします。



2. 検索条件を指定します。



検索条件として指定する項目を以下に示します。

項目	説明
言語	[英語]を選択します。
設定コンポーネント	[アクション]を選択します。
オブジェクト	翻訳するオブジェクトを選択します。
部分	[情報メッセージ]を選択します。

3. [成功メッセージの翻訳] 欄に、成功メッセージ(英語)を入力します。

入力後、[保存]ボタンをクリックします。

成功メッセージ(英語)は次頁の表を参照してください。



4. 1~3 の手順を対象のオブジェクトに設定します。

No	オブジェクト名	成功メッセージ(日本語)	成功メッセージ(英語)	クイックアクション名
1	FAQ 管理	FAQ の承認依頼を取り消しました。	The FAQ approval request has been canceled.	ox_act_cancellRequest
2	FAQ 管理	FAQ の承認依頼を承認しました。	The FAQ approval request has been approved.	ox_act_approval
3	FAQ 管理	FAQ の承認依頼を提出しました。	The FAQ approval request has been submitted.	ox_act_approvalReq
4	FAQ 管理	FAQ の承認依頼を否認しました。	The FAQ approval request has been rejected.	ox_act_deny
5	FAQ 管理	FAQ を公開しました。	The FAQ has been published.	ox_act_publish
6	FAQ 管理	FAQ を非公開にしました。	The FAQ has been unpublished.	ox_act_unPublish
7	FAQ 管理	レコードの評価を初期化しました。	The record evaluation has been initialized.	ox_act_resetEvaluate
8	FAQ 管理	次のステータスに進みました。	Progressed to the next status.	ox_act_next
9	イベント管理	イベントのステータスが変更されました。	The event status has been changed.	ox_act_confirm
10	イベント管理	インシデントを登録しました。	The incident has been registered.	ox_act_incident
11	イベント管理	次のステータスに進みました。	Progressed to the next status.	ox_act_next
12	イベント管理	変更を登録しました。	The change has been registered.	ox_act_change
13	イベント管理	問題を登録しました。	The problem has been registered.	ox_act_problem
14	インシデント管理	FAQ を登録しました。	The FAQ has been registered.	ox_act_faq
15	インシデント管理	インシデントの承認依頼を承認しました。	The incident approval request has been approved.	ox_act_approval
16	インシデント管理	インシデントの承認依頼を提出しました。	The incident approval request has been submitted.	ox_act_approvalReq
17	インシデント管理	インシデントの承認依頼を否認しました。	The incident approval request has been rejected.	ox_act_deny
18	インシデント管理	インシデントの対策を開始しました。	The incident corrective measure has been started.	ox_act_measuresStart
19	インシデント管理	インシデントの調査を開始しました。	The incident investigation has been started.	ox_act_surveyStart
20	インシデント管理	インシデントをコピー登録しました。	A copy of the incident has been registered.	ox_act_copy
21	インシデント管理	インシデントを登録しました。	The incident has been registered.	ox_act_incident
22	インシデント管理	次のステータスに進みました。	Progressed to the next status.	ox_act_next
23	インシデント管理	承認依頼を取り消しました。	The approval request has been canceled.	ox_act_cancellRequest

No	オブジェクト名	成功メッセージ(日本語)	成功メッセージ(英語)	クイックアクション名
24	インシデント管理	変更を登録しました。	The change has been registered.	ox_act_change
25	インシデント管理	問題を登録しました。	The problem has been registered.	ox_act_problem
26	お知らせ	お知らせの承認依頼を取り消しました。	The information approval request has been canceled.	ox_act_cancellRequest
27	お知らせ	お知らせの承認依頼を承認しました。	The information approval request has been approved.	ox_act_approval
28	お知らせ	お知らせの承認依頼を提出しました。	The information approval request has been submitted.	ox_act_approvalReq
29	お知らせ	お知らせの承認依頼を否認しました。	The information approval request has been rejected.	ox_act_deny
30	お知らせ	お知らせを公開しました。	The information has been published.	ox_act_publish
31	お知らせ	お知らせを非公開にしました。	The information has been unpublished.	ox_act_unPublish
32	お知らせ	次のステータスに進みました。	Progressed to the next status.	ox_act_next
33	サービス	サービスの承認依頼を承認しました。	The Service approval request has been approved.	ox_act_approval
34	サービス	サービスの承認依頼を提出しました。	The Service approval request has been submitted.	ox_act_approvalReq
35	サービス	サービスの承認依頼を否認しました。	The Service approval request has been rejected.	ox_act_deny
36	サービス	次のステータスに進みました。	Progressed to the next status.	ox_act_next
37	サービス	承認依頼を取り消しました。	The approval request has been canceled.	ox_act_cancellRequest
38	サービス要求管理	インシデントを登録しました。	The incident has been registered.	ox_act_incident
39	サービス要求管理	サービス要求の作業を開始しました。	The request work has been started.	ox_act_start
40	サービス要求管理	サービス要求の承認依頼を取り消しました。	The request approval request has been canceled.	ox_act_cancellRequest
41	サービス要求管理	サービス要求の承認依頼を承認しました。	The request approval request has been approved.	ox_act_approval
42	サービス要求管理	サービス要求の承認依頼を提出しました。	The request approval request has been submitted.	ox_act_approvalReq
43	サービス要求管理	サービス要求の承認依頼を否認しました。	The request approval request has been rejected.	ox_act_deny

No	オブジェクト名	成功メッセージ(日本語)	成功メッセージ(英語)	クイックアクション名
44	サービス要求管理	サービス要求をコピー登録しました。	A copy of the request has been registered.	ox_act_copy
45	サービス要求管理	サービス要求を却下しました。	The request has been dismissed.	ox_act_dismiss
46	サービス要求管理	リリースを登録しました。	The release has been registered.	ox_act_release
47	サービス要求管理	次のステータスに進みました。	Progressed to the next status.	ox_act_next
48	サービス要求管理	変更を登録しました。	The change has been registered.	ox_act_change
49	ソフトウェア	ソフトウェアの承認依頼を承認しました。	The Software approval request has been approved.	ox_act_approval
50	ソフトウェア	ソフトウェアの承認依頼を提出しました。	The Software approval request has been submitted.	ox_act_approvalReq
51	ソフトウェア	ソフトウェアの承認依頼を否認しました。	The Software approval request has been rejected.	ox_act_deny
52	ソフトウェア	次のステータスに進みました。	Progressed to the next status.	ox_act_next
53	ソフトウェア	承認依頼を取り消しました。	The approval request has been canceled.	ox_act_cancellRequest
54	ソフトウェア	新規ソフトウェアを登録しました。	The new Software has been registered.	ox_act_newVersion
55	タスク	作業が開始されました。	The work has been started.	ox_act_start
56	タスク	作業の承認依頼を承認しました。	The work approval request has been approved.	ox_act_approval
57	タスク	作業の承認依頼を提出しました。	The work approval request has been submitted.	ox_act_approvalReq
58	タスク	作業の承認依頼を否認しました。	The work approval request has been rejected.	ox_act_deny
59	タスク	作業の中間報告を提出しました。	The work intermediate report has been submitted.	ox_act_middleRprt
60	タスク	作業を記録しました	The work record has been saved.	ox_act_work
61	タスク	次のステータスに進みました。	Progressed to the next status.	ox_act_next
62	タスク	承認依頼を取り消しました。	The approval request has been canceled.	ox_act_cancellRequest
63	ドキュメント	ドキュメントの承認依頼を承認しました。	The Document approval request has been approved.	ox_act_approval
64	ドキュメント	ドキュメントの承認依頼を提出しました。	The Document approval request has been submitted.	ox_act_approvalReq
65	ドキュメント	ドキュメントの承認依頼を否認しました。	The Document approval request has been rejected.	ox_act_deny

No	オブジェクト名	成功メッセージ(日本語)	成功メッセージ(英語)	クイックアクション名
66	ドキュメント	次のステータスに進みました。	Progressed to the next status.	ox_act_next
67	ドキュメント	承認依頼を取り消しました。	The approval request has been canceled.	ox_act_cancellRequest
68	ドキュメント	新規ドキュメントを登録しました。	The new Document has been registered.	ox_act_newVersion
69	ハードウェア	スナップショットを更新しました。	The snapshot file has been updated.	ox_act_updateSnapshot
70	ハードウェア	ハードウェアの承認依頼を承認しました。	The Hardware approval request has been approved.	ox_act_approval
71	ハードウェア	ハードウェアの承認依頼を提出しました。	The Hardware approval request has been submitted.	ox_act_approvalReq
72	ハードウェア	ハードウェアの承認依頼を否認しました。	The Hardware approval request has been rejected.	ox_act_deny
73	ハードウェア	次のステータスに進みました。	Progressed to the next status.	ox_act_next
74	ハードウェア	承認依頼を取り消しました。	The approval request has been canceled.	ox_act_cancellRequest
75	リリース管理	計画が開始されました。	The plan has been started.	ox_act_plan
76	リリース管理	次のステータスに進みました。	Progressed to the next status.	ox_act_next
77	リリース管理	承認依頼を取り消しました。	The approval request has been canceled.	ox_act_cancellRequest
78	リリース管理	承認依頼を承認しました。	The approval request has been approved.	ox_act_approval
79	リリース管理	承認依頼を提出しました。	The approval request has been submitted.	ox_act_approvalReq
80	リリース管理	承認依頼を否認しました。	The approval request has been rejected.	ox_act_appDeny
81	リリース管理	新規自動リリース管理を登録しました。	The new automatic release management has been registered.	ox_act_newAutoRelease
82	移送管理	移送処理のステータス完了、結果区分成功の指示を出しました。	The transport process status closed and result category successful command has been issued.	ox_act_complete
83	移送管理	移送処理のホールド属性を変更しました。	The transport process hold command has been issued.	ox_act_hold
84	移送管理	移送処理のリトライ指示を出しました。	The transport process retry command has been issued.	ox_act_retry

No	オブジェクト名	成功メッセージ(日本語)	成功メッセージ(英語)	クイックアクション名
85	移送管理	移送処理の中止指示を出しました。	The transport process stop command has been issued.	ox_act_stop
86	移送管理	移送処理を破棄しました。	The transport request has been discarded.	ox_act_destruction
87	移送管理	移送申請をコピー登録しました。	A copy of the transport management has been registered.	ox_act_copy
88	移送管理	次のステータスに進みました。	Progressed to the next status.	ox_act_next
89	移送管理	承認を取り消しました。	The approval has been canceled.	ox_act_cancelApprove
90	移送管理	承認依頼を取り消しました。	The approval request has been canceled.	ox_act_cancelRequest
91	移送管理	承認依頼を承認しました。	The approval request has been approved.	ox_act_approval
92	移送管理	承認依頼を提出しました。	The approval request has been submitted.	ox_act_approvalReq
93	移送管理	承認依頼を否認しました。	The approval request has been rejected.	ox_act_deny
94	期日	使用を開始しました。	started using.	ox_act_start
95	期日	使用を終了しました。	ended using.	ox_act_end
96	自動リリース管理	次のステータスに進みました。	Progressed to the next status.	ox_act_next
97	自動リリース管理	自動リリースのステータス完了、結果区分成功の指示を出しました。	The automatic release status closed and result category successful command has been issued.	ox_act_complete
98	自動リリース管理	自動リリースのホールド属性を変更しました。	The automatic release hold command has been issued.	ox_act_hold
99	自動リリース管理	自動リリースのリトライ指示を出しました	The automatic release retry command has been issued.	ox_act_retry
100	自動リリース管理	自動リリースの中止指示を出しました。	The automatic release stop command has been issued.	ox_act_stop
101	自動リリース管理	自動リリースをコピー登録しました。	A copy of the automatic release management has	ox_act_copy

No	オブジェクト名	成功メッセージ(日本語)	成功メッセージ(英語)	クイックアクション名
			been registered.	
102	自動リリース管理	自動リリースを破棄しました。	The automatic release has been discarded.	ox_act_destruction
103	自動リリース管理	承認依頼を取り消しました。	The approval request has been canceled.	ox_act_cancellRequest
104	自動リリース管理	承認依頼を承認しました。	The approval request has been approved.	ox_act_approval
105	自動リリース管理	承認依頼を提出しました。	The approval request has been submitted.	ox_act_approvalReq
106	自動リリース管理	承認依頼を否認しました。	The approval request has been rejected.	ox_act_deny
107	取引先責任者	ポータルパスワードリセット通知を通知しました。	The portal password reset notice has been notified.	ox_act_resetPassword
108	取引先責任者	ポータル利用開始通知を通知しました。	The portal service start notice has been notified.	ox_act_startPortal
109	通知	レコードを既読に更新しました。	The selected records has been already read.	ox_act_read
110	通知	削除が完了しました。	Deletion has finished.	ox_act_delete
111	変更管理	リリースを登録しました。	The release has been registered.	ox_act_release
112	変更管理	次のステータスに進みました。	Progressed to the next status.	ox_act_next
113	変更管理	承認依頼を取り消しました。	The approval request has been canceled.	ox_act_cancellRequest
114	変更管理	承認依頼を承認しました。	The approval request has been approved.	ox_act_approval
115	変更管理	承認依頼を提出しました。	The approval request has been submitted.	ox_act_approvalReq
116	変更管理	承認依頼を否認しました。	The approval request has been rejected.	ox_act_appDeny
117	変更管理	審査が開始されました。	The review has been started.	ox_act_check
118	問題管理	FAQを登録しました。	The FAQ has been registered.	ox_act_faq
119	問題管理	次のステータスに進みました。	Progressed to the next status.	ox_act_next
120	問題管理	承認依頼を取り消しました。	The approval request has been canceled.	ox_act_cancellRequest
121	問題管理	変更を登録しました。	The change has been registered.	ox_act_change
122	問題管理	問題の承認依頼を承認しました。	The problem approval request has been approved.	ox_act_approval
123	問題管理	問題の承認依頼を提出しました。	The problem approval request has been submitted.	ox_act_approvalReq

No	オブジェクト名	成功メッセージ(日本語)	成功メッセージ(英語)	クイックアクション名
124	問題管理	問題の承認依頼を否認しました。	The problem approval request has been rejected.	ox_act_deny
125	問題管理	問題の調査を開始しました。	The problem investigation has been started.	ox_act_surveyStart
126	連携_CI1	次のステータスに進みました。	Progressed to the next status.	ox_act_next
127	連携_CI2	次のステータスに進みました。	Progressed to the next status.	ox_act_next
128	連携_ジョブグループ 管理	次のステータスに進みました。	Progressed to the next status.	ox_act_next

No	オブジェクト名	成功メッセージ(日本語)	成功メッセージ(英語)	クイックアクション名
129	連携_ジョブネットワーク管理	次のステータスに進みました。	Progressed to the next status.	ox_act_next
130	連携_ジョブ管理	次のステータスに進みました。	Progressed to the next status.	ox_act_next
131	連携_ネットワーク管理	次のステータスに進みました。	Progressed to the next status.	ox_act_next
132	連携_リソース管理	次のステータスに進みました。	Progressed to the next status.	ox_act_next

LMIS V2.9.0 英語化設定手順書

2020年8月 第1版

株式会社ユニリタ

〒108-6029 東京都港区港南 2-15-1

品川インターシティ A 棟

ユニリタサポートセンター：03-5463-6381

：support@unirita.co.jp

Copyright 2020 UNIRITA Inc.

J-LMIS-290-100-1